



今でも歌えますか

広報

# 三の之

2006

3

大人も子どもも、春は出会いと別れの季節。一年で一番校歌が歌われるのが、卒業式や入学式のあるこの時期。

子どもの頃、私たちにとって身近な歌のひとつが校歌でした。

何度も繰り返し歌うことで、いつの間にか、そらで歌えるようになった校歌。

それは人々の記憶の奥底にいつまでも残っているはず。

全部は覚えていないけど、出だしは歌える。そんな人もいるのではないのでしょうか。

校歌を思い出し、口ずさむことは子どもの頃育った環境にふれることにつながります。

なぜなら、校歌には学校や郷土の風景、学ぶ人の心構えや夢・希望などが盛り込まれているからです。

校歌は、子どもの頃育った環境の象徴。

今月は、町内の学校で、歌い継がれてきた校歌を集めてみました。

子どもの頃は気づかずに歌っていたことも多いようです。

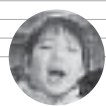
「けっこう良いことを歌っているなあ」

そうあらためて気づくのもいいもの

校歌を通じてふるさとを見直してみてください。今でも歌えますか、校歌。

## 特集：今でも歌えますか

広報係では、今回の特集を組むに当たり関係機関の協力を得ながら校歌を集めてきました。しかし、古いものについては確認が出来なかったものがあることも考えられます。今回の特集に掲載したもの以外で、町内の学校に関する校歌がある場合は、次号以降に連載というかたちで掲載したいと考えています。もしご存知の方がいましたら、お手数ですが、役場広報係（☎76-3807）までご一報ください。



◀東飯田小学校旧校舎の切り絵

▼写真の右はしに見えるのが校歌に歌われた宝山



◀広報このえ1969年4月号

### 東飯田小学校 校歌

作詞 石森 延男  
作曲 下総 皖一

一 あしたに映ゆる 宝山  
動かぬ姿あおぎつつ  
高き望みと新しき  
力もちて いざたたん  
日本の子なり  
われらは

二 ゆうべに清き 玖珠川の  
つきせぬながれ想いつつ  
世界のために美わしき  
光に向かい いざゆかん  
日本の子なり  
われらは

### 竜門小学校 校歌

作詞 小野 次夫  
作曲 田坂 保

一 見よ宝山の名に榮えて  
豊に育つ若ひなの  
集う健児の学舎は  
その名もうるわし竜門校

二 勇壯大祖仰ぎつつ  
研磨の実り花も咲き  
平和に学ぶ理想境  
伸びゆくその名竜門校

三 平家の峯や夢のあと  
栄枯の歴史辿りつつ  
尊き教訓(おしえ)に迷いなく  
その名もゆかしき竜門校

四 長羽の山に渡雁なげば  
瀑音清く千代かけて  
浄化の調べ学窓に聞く  
榮あるその名竜門校

五 古今につたわるその理想  
登竜の門榮譽をば  
名つけて勇く若駒の  
その名も高き竜門校

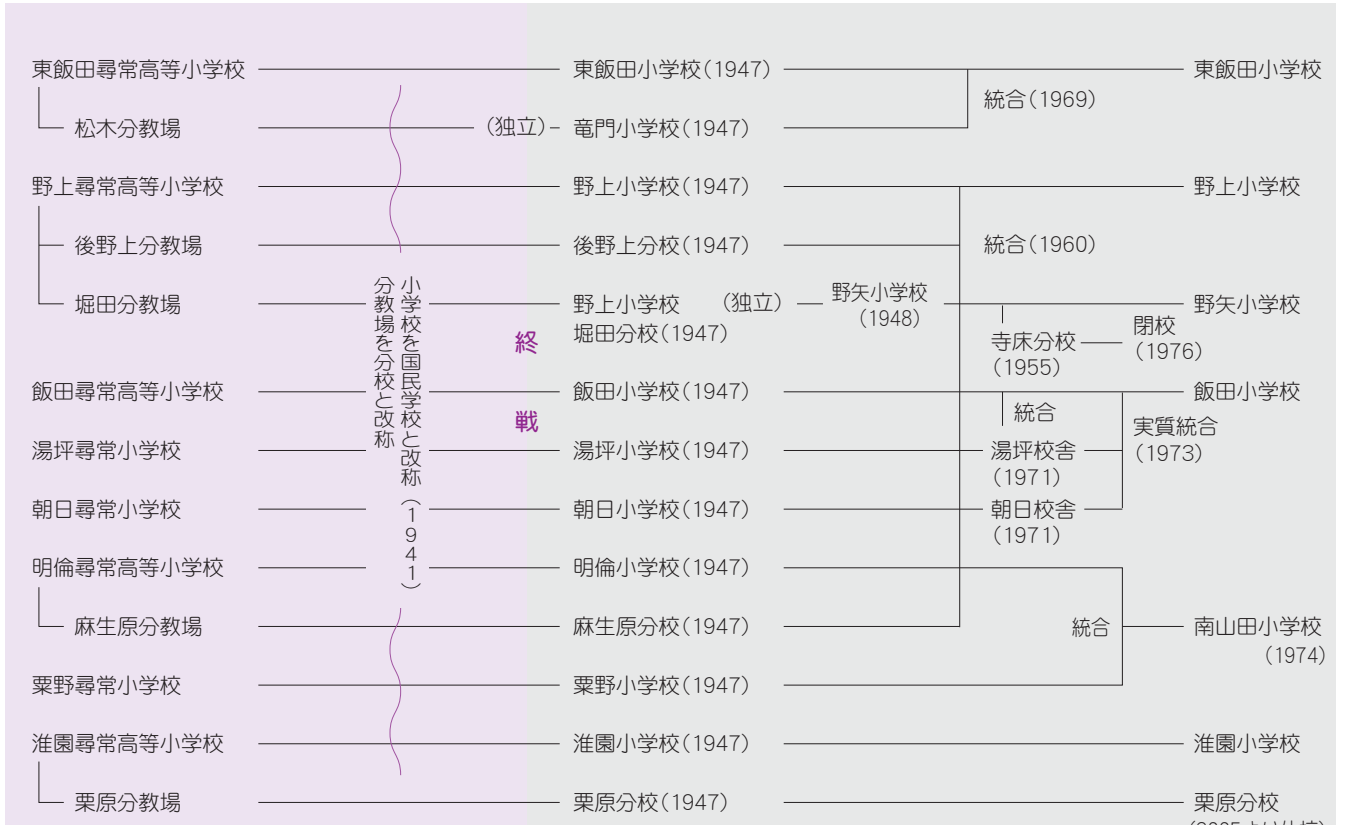
## 各学校の流れ（昭和以降）

昭和初期

1941

1945

1947



1947年各尋常高等小学校の高等科を廃止し、中学校が発足

# 野上小学校 校歌

作詞 川辺 繁喜  
作曲 田坂 保

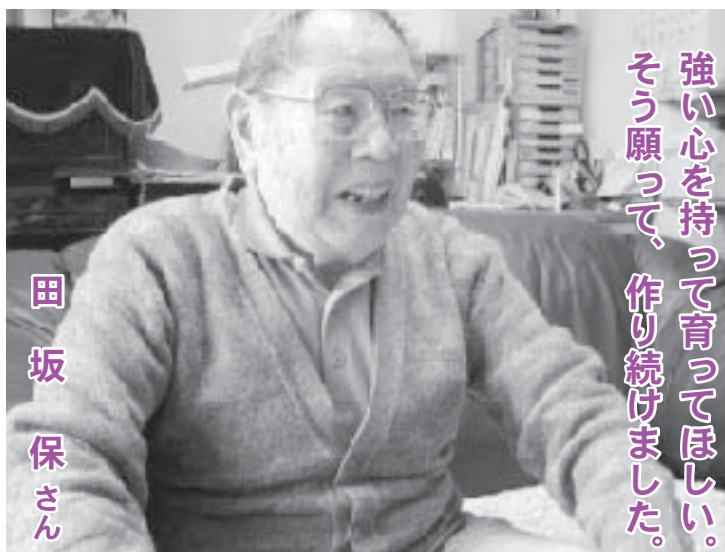
一  
九重の谷にわき出て大海に  
流れる川のみなもとの  
歴史輝くこの窓に  
正しい心光るちえ  
みがくわれらの野上校

二  
万年山の広い大空山なみの  
深いみどりの杉木立  
望みあふれるこの庭に  
元気な体つよい意思  
きたうわれらの野上校

三  
野も丘もゆたかなみのり  
照るもみじ  
文化の花の咲きかおる  
ゆめも明るいこの園に  
心と心腕と腕  
むすぶわれらの野上校



中央通り旧小学校での大運動会（1958年）。この頃の児童数は700人を越えていました。



田坂保さん

強い心を持って育ててほしい。そう願って、作り続けました。

郡内の校歌のほとんどを作曲しているのが田坂保さん。明治45（1912）年2月生まれの94歳。今でも大変お元気で、大分市に暮らしています。

「若い頃サツカーで鍛えたおかげでしょうか」と笑顔の田坂さん、耳もしっかりとしており、普通どおりに会話ができるのも驚きです。

田坂さんは玖珠町出身。大分市内の小学校校長などの教育に携わる傍ら作曲活動も続け、ボランティアで大分県内の校歌75曲をはじめとして、約100曲を手がけてきました。宝泉寺小唄を作曲したのも田坂さんで取材のときには歌声も披露してくれました。長年、教育に携わってきた田坂さん

（1985年には勲五等瑞宝章受章）、その始まりは1932年から3年間勤務した野上小学校でした。自身の本で、その頃を「教師としての規範を学んだ」と記すなど大変充実した日々だったようです。校歌を作ったのも野上小学校が初めてで、「わしにも作れるのだからかと精一杯作った記憶があります」。

校歌を作るときは、明るく調子が良く、そして歌いやすいものになるよう心がけていたそうで、ハ長調やト長調のものが多く、4分の4拍子が多いのも特徴。

「校歌は自分たちの歌だというものがある」と田坂さん、自分の作った校歌を歌う子どもたちを見て、「私の心が伝わり、子どもとつながっているなあ、つてうれしく思いましたよ。強い心を持って育ててほしい。そう願って作り続けました。それに校歌を歌うことで自分たちの子どもや友だち、母校のことを思い出せます。そのことに自分が役立ててとてもうれしいです」。

教師現役時代、田坂さんはよく子どもたちに「人は誰でもひとつだけダイヤモンドを持って生まれる」と話をしたそうです。「それを磨いて、ダイヤモンドにするか、石ころで終わらせるかは本人次第」とも。

田坂さんにとって、「ダイヤモンド」のひとつが師範学校2年生のときに踏み出した音楽だったはず。その出会いはひよんなことから。当時の先生がほかの同級生に「ピアノに進みなさい」と聞いたことに刺激を受けてでした。その後、園田高弘さんの父、園田清秀



さんに師事するなど音楽の腕を磨き、「ダイヤモンド」にしています。

「人との出会いはおよそ意図的でない場合が多いように、教師の意図しないことで子どもが伸びたりするし、逆の場合もある」と、前述の本に書き記した田坂さん、だからこそ「教師はいずれの時も心を許し給うな」。

今でも玖珠盆地をめぐるならかな山々を思い出すという田坂さん、「いろんな方面に伸びる芽はこの環境で自然に育つ」とも本で述べています。そして「玖珠の美しい自然の中に育つ人の感性は良い筈。自分自身を見つけて出し、がんばればすばらしい人間になり、人々の役に立つ人間に育つのは間違いないこと。そのことを自覚し、やる気を起こしてもらいたい」と。

田坂さんの作った校歌はこれからも、この玖珠の自然の中で歌い継がれていきます。誰でも一つは持っているはずのダイヤモンド、または芽を探しながら。



### 野矢小学校 校歌

作詞 川辺 繁喜  
作曲 田坂 保

一 山なみは  
さやかに晴れて ま清水の  
流れ清らな 学び舎に  
みんな明るく 通いきて  
正しい心 考える  
力を磨く わが母校

### 二

さわらびの  
もえる野原 ひろい空  
野稲おろしの この庭に  
みんな元気に 集いより  
つよい体と たくましい  
性根をきたう わが母校

### 三

山の幸  
ゆたかに香り 湯けむりに  
小鳥も歌う この園に  
みんなたのしく輪を上げ  
まるくやさしく あたたかい  
心ふかめる わが母校

野矢小学校  
(1973年頃)



寺床分校

### 飯田小学校 校歌

作詞 梅木 幸吉  
作曲 田坂 保

一 九重の山の やまなみを  
学びのまどに 仰ぎ見て  
清く 正しく 美しく  
心を磨き 知をひらく  
良い子の 飯田小学校

### 二

たえず休まず 湧いて出る  
山のいで湯の あたたかく  
みんな仲よし 手を組んで  
からだをきたえ わざをねる  
つよい子 飯田小学校

### 三

わかくさ青く はるばると  
風も光るよ 長者原  
かがやくひとみ 明日の夢  
のぞみ明るく はげむ子の  
伸びゆく 飯田小学校



飯田小学校運動会

### ▼広報ここのえ1973年2月



### 飯田小学校 校歌(旧) (昭和11年制定)

九重のれい峰 仰ぎみて  
気も澄みわたる 大自然  
四季とりどりに 花は咲き  
香りは高く 空に満つ  
天地自然を のりとして  
勤勉協同まもりつつ  
心を見がき 智をひらき  
土に親しみ 土に生く  
歴史は輝く 幾星霜  
大みことのりに したがいて  
かたみにはげみ いそしみつ  
おお学び舎よ この飯田



湯坪小学校1951年度卒業  
写真には  
ほくは大きくなりたら村の  
ために努力したいと思えます。  
ほくは大きくなったら日本  
のためにきしゃのうんてん  
しゅになりたい。  
私はようさいにいこうと思  
います。  
いっしょつげんめい勉強し  
ようさい工場へいって、国  
のため村のため、はたらこう  
と思えます。

と書いた寄せ書きが書かれて  
いました。

### 湯坪小学校 校歌 (旧校歌)

九重の峰はいや高く  
我が高原はいや広し  
天地の生氣 粹然と  
我が学舎を 巡るなり  
高原の春 甍がえり  
桃 咲く里のゆかしさよ  
我等は此処に生をうけ  
久遠の希望  
芽生ゆなり

### (新校歌)

一 窓にそびゆる 湧蓋山  
清き流れの 玖珠川つきぬ  
野の草花も ほほえみかける  
ああ 湯坪校の明るい子供  
二 大空高く 大岳の  
登る湯煙り はてしなく  
まげずにのびる すくすくと  
ああ 湯坪校の元気な子供  
三 九重の山に つつまれて  
輝く麓もうつくしく  
いついつまでも 栄えあれ  
ああ 湯坪校の幸福あわせの子供



湯坪小学校

### 南山田小学校 校歌

作詞 川辺 繁喜  
作曲 田坂 保

一 山なみ遠く 森深く  
みどりの風が さわやかな  
学びの窓に すむひとみ  
なおく明るく のびていく  
南山田小学校

二 こだまが返る 小倉岳  
おおぐ大木 たくましい  
学びの庭に 足なみの  
つよく正しく すこやかな  
南山田小学校

三 流れはるかに 町田川  
はずむ瀬音が 呼んでいる  
学びの園に 手をとって  
うたも楽しく ゆめがわく  
南山田小学校

南山田小学校は、1974年、明倫小学校と栗野小学校が統合され生まれました。  
南山田小学校の校歌ができたのが1981年。開校7年目でした。当初、校歌は公募で決める予定でしたが、応募があつたものの、専門家に依頼。その際には、応募作品を参考に「小倉岳」「町田川」などの名称を入れるよう要望したそうです。

### 明倫小学校 (旧校歌)

作詞 北里 直樹

一 五倫乱れず 明らかに  
五常整ひ道直ぐ  
世をも人をも 率いんと  
名に負わしつる 吾が母校  
基い仰げよ 誰も皆

二 君のみたてと ならん子よ  
大和魂持てる子よ  
三千年来伝え来し  
元氣は国の生命ぞや  
元氣よくあれ 誰も皆

三 君と親とに仕えんも  
国と家とに尽くさんも  
道は一にて二に非らず  
骨身くだかん外ぞなき  
骨おしみすな 誰も皆

四 時間をたがえず起伏に  
順序乱さず整頓に  
良く働きて良く遊ぶ  
身のならわしは世の宝  
きまり良くせよ 誰も皆

五 雪に螢に磨きつつ  
身をも心もおさめつつ  
教育の光世に放ち  
あわれ母校の名に恥じぬ  
人となれ人 誰も皆

明倫は、孟子の言葉「皆人倫を明らかにする所以なり(教育の力によって人間の道を明らかにして教え導けば、人民は互いに親しみあい国は大いに治まる)」からとられたもの。

### 明倫小学校 (新校歌)

作詞 帆高 逸雄  
作曲 田坂 保

一 山なみ青く 森深き  
丘に明るく まなびやは  
楽し歌声 友の声  
明倫 明倫 明倫校

二 小倉ケ岳の 山彦は  
呼び声高く 窓を打ち  
元氣よくあれ 友よ皆  
明倫 明倫 明倫校

三 町田川辺の せせらぎに  
心を洗い 身を清め  
人となれ人 誰も皆  
明倫 明倫 明倫校

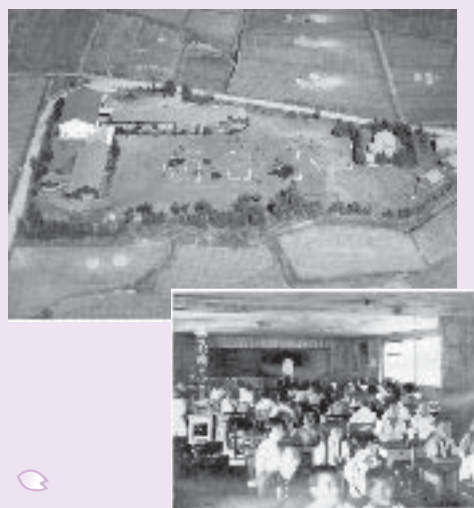


▲広報ここのえ1974年4月号  
明倫、栗野2校が統合して南山田小学校が誕生。当時の児童数は243人。

### 朝日小学校

朝日小学校では「坊ガツル讃歌」の替え歌を校歌として歌っていました。

歌われ始めたのは1966年ころ。当時、この学校の先生だった安部法人(のりと)さんが替え歌を考案。閉校になる1973年まで歌い続けられました。残念ながら、資料等を発見できず、紹介が出来ませんが、当時を知る人によると、「大岳」などが歌いこまれていたようです。芹洋子さんにより「坊ガツル讃歌」が大ヒットする1978年より前の話です。



■栗野小学校の校歌を探したのですが、閉校時の記念誌にも載っておらず、卒業生のみなさんにも聞いたのですが「歌った記憶がない」という返事でした。もし何かご存じの方がいましたら、ご一報ください。



### 淮園小学校 校歌

作詞 藤原 信  
作曲 田坂 保

一 きらめく流れ 澄む瀬音  
二 瀬の川は 私らの姿だ  
清く美しく ちえを磨いて  
淮園の その名にかおる学舎に  
輝く歴史 つくろうよ

二 萌え立つみどり 青い空  
涌蓋の山は 私らの力だ  
強くたくましく 体きたえて  
淮園の 希望はおどる学舎に  
励まし合って 進もうよ

三 豊かな恵み そよぐ風  
お湯湧く里は 私らの心だ  
いつもあたたかく ほほえみかわし  
淮園の 幸せ満ちる学舎に  
明日の栄えを 歌おうよ



▲淮園小学校の校歌で歌われる涌蓋山。湯坪小学校の校歌でも歌われています。

### 淮園小学校 校歌

(昭和10年代頃)

一 末豊かなる 筑水の  
水上(みなかみ)清く 住むひとり  
み空に高き 涌蓋嶺(おいたね)を  
迎きてたてり  
我が母校

二 花かぐわしき 白梅の  
ゆかりも深き 産神(うぶすな)や  
千古に朽ちぬ 管性(かんせい)の  
至誠のみ魂  
輝けり

三 ああなつかしき 同胞(らから)よ  
学びの道の 果遠く  
自治勤労を 旨として  
いざや進まん  
もろ共に



▲淮園小学校 (1979年)



栗原分校にも校歌は存在していましたが、ずっと以前から入卒業式などでは「ふるさとのみどり」を歌っており、いつしかそれが愛唱的存在になりました。昨年春の休校式のときも、最後に全員で合唱しました。

▲栗原分校、2ページの写真も同校より提供を受けました。

### 淮園小学校栗原分校 校歌

作 大津留 忠蔵

一 春は桜に 夏青葉  
秋の紅葉に 冬の雪  
あかぬ眺めや 栗原の  
中にたちたる 我が学校

二 刈れども尽きぬ 草野あり  
米麦実る 美田あり  
かかる尊き 我が村を  
よりよき村と なさんこそ  
尊き我らの 使命なり

一 ふるさとのみどり  
美しい ふるさとのみどり  
鳥がなっている山  
虫がなっている原  
ゆたかな ゆたかな  
ふるさとの未来を  
みんなでつくろう

二 美しい ふるさとのみどり  
雲がとんでいる空  
水がすんでいる川  
ゆたかな ゆたかな  
ふるさとの未来を  
みんなでつくろう

三 美しい ふるさとのみどり  
みどりの中の学校  
手をむすびあうなま  
ゆたかな ゆたかな  
ふるさとの未来を  
みんなでつくろう

### 東飯田中学校 校歌

作詞 藤原 信  
作曲 真浄 一雄

一 さ霧は晴れて玖珠川の  
流れさやかにかがやく朝  
見よこの丘に若き日の  
知性明るく大志に生くる  
われらの胸に理想あり  
ああ東飯田わが中学に誉あれ

二 みどりは萌ゆる宝山  
空にはるけく雲ゆくところ  
見よこの学園に友垣の  
誓はかたく足なみ揃う  
われらの腕に力あり  
ああ東飯田わが中学に生命あれ

三 そよ風吹きて玖珠平野  
みのり豊かに波打つ光  
見よこの里に新しき  
文化を築き歴史を創る  
われらの肩に使命あり  
ああ東飯田わが中学に栄えあれ

### 南山田中学校 校歌

作詞 藤原 信  
作曲 田坂 保

一 みどり濃き 山はめぐりて  
光みつ 美わしき里に  
若き日の 生命は燃えて  
きわむる真理 輝く正義  
ああ 我らひとすじに  
道をひらかん

二 町田川 流れきらめき  
実りたる 豊けき村に  
若き日の 力はある  
いそむ勤勞 貫く至誠  
ああ 我らたくましく  
からだ鍛えん

### 飯田中学校 校歌

作詞 藤原 信  
作曲 辛島 武雄

一 連なるくじゅうの やまなみに  
朝雲きよし 胸をはり  
明るい知性磨きつつ  
われら 飯田の中学に  
この故郷の地を照らす  
光をたかく かかぐなり

二 みどりは萌ゆる 高原に  
心はひろし 身は強く  
雄々しき力 きたえつつ  
われら 飯田の中学に  
この故郷の地をひらく  
基をかたく 築くなり

三 かわらぬ湯の香 白鳥の  
歴史は古し 夢若く  
正しき道を 修めつつ  
われら 飯田の中学に  
この故郷の地を結ぶ  
いのちを永く 伝うなり

### 野上中学校(旧校歌)

作詞 橋爪 初枝  
作曲 安達 保

一 さ緑もゆる青野山  
霞の奥にあげひばり  
花咲ききそう春の朝  
こころうるわしき山陰に  
夢をはぐくむ六百人  
野上中学意気高し

二 新月青き大空に  
紅葉の色たそがれぬ  
川原の花の風にゆれ  
尽きぬ流れの野上川  
岸にそびゆる学び舎は  
野上中学 我が母校

### 野上中学校物語

南国デビューの旧校歌

1956(昭和31)年頃の話です。当時の修学旅行の行き先は宮崎。ある日、旅行先のバス会社から連絡が入りました。

「修学旅行生の到着時に、校歌をブラスバンドで演奏するので、楽譜を送ってくださいませんか」

しかし、当時の野上中学校には校歌がなく、「この際作ってみては」ということになりました。

そこで、音楽科の安達保先生が、生徒や保護者に作詞を呼びかけました。その中で採用されたのが、保護者の一人橋爪初枝さんの作った「さ緑もゆる青野山」という詞。さっそく安達先生が曲をつけました。

そして修学旅行。宮崎に到着した生徒は、その場で初めて自分の学校の校歌を聞きます。その後この校歌が校歌的な役割を果たしていました。

1970年になり、当時の把野国義校長が正式に校歌制定が呼びかけ、初代校長の川辺繁喜さんが作詞、田坂保さんに作曲を依頼。翌年2月に現在の校歌「九重の峰をかなたに」が制定されました。そして同年3月8日の卒業式後に校歌制定の記念式典が行われました。

それ以後「さ緑もゆる青野山」の校歌は応援歌的なものとして、中体連などで歌われてきましたが、いつしかそれも立ち消えになってしまいました。

昭和30年代〜40年代の生徒たちにとっては「さ緑もゆる青野山」が校歌であったことは確かです。また、その中の「夢を育む六百人」の歌詞の「六百人」は、その当時の生徒数によって「四百人」とか「五百人」とかに読み替えて歌われていたそうです。

ちなみに今歌うとすると「夢をはぐくむ七十八人」

### 野上中学校(新校歌)

作詞 川辺 繁喜  
作曲 田坂 保

一 九重の峰をかなたに 青垣の  
めぐる山なみ はゆる朝  
若き日の 燃えたつ生命  
向学のひとみ 明るく  
ひたすらに 知性磨かん  
ああ わが野上中学校

二 路はるか 筑紫二郎の  
希望の泉 わくところ  
たくましき 生命の流れ  
行く道の 難きにめげず  
拓きゆく 力きたえん  
ああ わが野上中学校

### 野上中小学校(新校歌)

作詞 川辺 繁喜  
作曲 田坂 保

一 九重の峰をかなたに 青垣の  
めぐる山なみ はゆる朝  
若き日の 燃えたつ生命  
向学のひとみ 明るく  
ひたすらに 知性磨かん  
ああ わが野上中学校

二 路はるか 筑紫二郎の  
希望の泉 わくところ  
たくましき 生命の流れ  
行く道の 難きにめげず  
拓きゆく 力きたえん  
ああ わが野上中学校



## ● 町づくり懇談会

「自律推進計画」を中心に今後のまちづくりについて住民と行政が対話をする「町づくり懇談会」が2月7日から15日にかけて町内9カ所で行われ、延べ約300人の住民が参加しました。

「自律推進計画」は九重町が合併をせずに単独の道を歩むことに決めた2004年11月から内部協議を開始。昨年春からは住民代表などからなる「自律推進計画検討専門委員会（岐部午二会長・19人）が町と共同で作業を進め、昨年に12月に完成。

同計画をめぐる地域に出向いての懇談会は、昨年春（10回開催）、秋（4回開催）につづいて今年度3回目。完成した計画を説明するのは初めてとなる今回の懇談会は、前2回の町長に代わり各課長が、合併をせずに自律を目指した経緯や自律推進計画、財政計画の内容を説明。住民との意見交換を行いました。

特に鳴子川大吊橋や職員給与・手当をはじめとした行政改革に関する意見が多く出され、職員の定数減については「良いこと」という意見に対し、「定数減はまちづくりに結びつかない。サービス低下につながるのでは」という不安の声も。協働のまちづくりのためには町のリーダーシップが必要とする意見が多く、町職員の意識改革を求める声が出ていました。一方で「住民の意識改革も必要」。また、町が導入を検討し

ている指定管理者制度（→NOTE）については、「受けることが出来るような人材の育成も必要だし、住民参加を含めた対応窓口も必要では」という意見が出ていました。

自律推進計画の実施期間は2006年度から15年度までの10年。「住民と行政との協働で築くまちづくり」、「行財政改革で簡素で効率的な行政運営」、「地域特性を活かした活力あるまちづくり」の3点が柱。「自助」「共助」「公助」の原則をまちづくりに生かし住民参加を進めようとしています。行財政改革では、事務・事業を見直すことや町職員の削減や給与・手当などの見直し、公共施設の統廃合や民間委託、民営化の検討などが盛り込まれており、このことよって10年間で約19億円の経費削減ができています（今年度の町の一般会計当初予算は約66億）。また、「人的資源がもっとも重要視すべき」と住民リーダーの育成を促す一方で、前例にとらわれず、住民の立場で行動をする「あるべき町職員像」も掲げています。

今回の町づくり懇談会では、自律推進計画以外のことについても多くの質問・意見をいただきました。その回答については広報4月号に掲載します。

NOTE

指定管理者制度とは

住民サービスの向上と経費の削減等を図ることなどを目的に、これまで公共的団体に限られていた公の施設の管理の委託先を、特別の制約を設けず広く募集すること。



## 住民・行政

# 共に輝き地域を作ろう

## ● 男女が共に輝く地域セミナー

「男女が共に輝く地域セミナー」（2005年度第5回）が2月16日に九重町役場で行われ、NPO法人えばの会代表の吉本寛子さんを講師に「ドメスティック・バイオレンス」をテーマに学習しました。ドメスティック・バイオレンスは夫やパートナーなど親密な関係にある又はあった男性が女性に振るう暴力。国の調査では女性の約20人に1人が命の危険を感じるほどの暴力を受けているといわれており、社会問題化しています。参加者からは「よくわかった」「これから何度も勉強していきたい」といった感想が聞かれました。また坂本町長が「自律に向けたまちづくり」について講演。坂本町長は、自立ではなく自律を選んだ意味（自分で自分を律する意義）や自助・共助・公助のまちづくりについて説明。

「町職員、議員、住民の意識改革が最も重要であり、この三者が一体となれば必ず自律の町は実現できる」と話しました。

「男女が共に輝く地域セミナー」は九重町女性会議（矢野正美会長）が主催。今年度は9月15日に開講。介護、健康、食、美などをテーマに5回開催し、延べ参加者数は191人。しかし、男性参加者の少なさが気になる。最終日も女性60人に対し男性は1人。一方、町づくり懇談会などへの女性や若者の参加者の少なさが指摘されています。男女の壁はまだ厚い？

「男女が共に輝く地域セミナー」は来年度も開催予定。「九重町男女共同参画計画」も策定中で今年秋までには完成が予定されています。

## 男性・女性



# 5年間、がむしやらに がんばっていけば、 町は大きく 変わってくるはずですよ。



武内正長さん  
武内哲子さん 夫婦

「これから自分の思うどおりの町をこしらえることができるんですよ。うれしいし、やる気が起きます」

こう話すのは武内正長さん。2月に町内9カ所で行われた町づくり懇談会では、ほとんどの会場でその姿を見ることができました。

「町にお願いしたいことがいっぱいあったらしく、その意味では地域色が良く出ていたと思います」と今回の懇談会を振り返ります。

しかし、自律を目指すことは「町始まって以来の大きな問題」と捉えている武内さんにとって、テーマ（自律を目指すこと）に沿った意見があまり出なかったことは残念だと話します。

「しかし、会場で急に資料を見せられただけでは説明を聞くことに精一杯で、質問するまでには行かないというのは当然だと思えます。かといって事前に資料を配つても、あまり読まれることはないと思います。やはり繰り返し、繰り返し話しすることが一番」

それも待ちの姿勢ではなく、積極的に。

「情報宣伝を専門に手がけるようなスタッフがいて、集まりがあると聞けばそこに押しかけて話します。そこまで打ち込む必要があると思います」

かつて武内さんもそうでした。若い頃は政治運動に没頭、田んぼの中に入り一緒に並んで作業をしながら訴えるようなこともしていました。「そこまでやると必ず相手は答

えてくれるもんです。これからは町も住民もそれぞれの持ち場がばばっていかねければなりません。町にはあるべき姿を訴えていく責任と喜びをかみ締めてほしいですね。住民もそうです。役場に任せなければいいは、責任放棄であり、願望放棄です。日々、笑い、泣き、

多くの人にとって終（つい）の棲家になるであろう、この町のことを真剣に考えなければならぬと思いますし、未来の人たちに責任もあります」

武内さんは妻の哲子さんとともに長い間地域のボランティア活動を続けています。夫婦共通の老人クラブを通しての活動のほかに、哲子さんはカッコウの会（広報朗読）や割り箸の回収など、一方の正長さんはコスモスの会（障がい者のボランティア）や近所の一人暮らし高齢者へ雪の日の雪掃きや、台風が来そうな時のラジオや懐中電灯の準備の手伝い、戸の修理などをしています。

「みんな幸せに暮らさなければならぬから、そのお手伝いです」と武内さん。

今回の自律推進計画は、とかく公助（行政）が先行しがちだったこれまでのやり方を根本から変え、まず自分でできることは自分で（自

助）、個人でできないことは近所などが助け合い（共助）、それでもできないときは町で（公助）という考え方を前面に出しています。ボランティア活動を続けてきた武内さん夫婦にとって、この考えは

すんなり受け入れられるものでした。ただし、住民の間に共通認識をしっかりと持つことなしにはうまくいかないという指摘。さらには自助・共助・公助の考え方だけでなしに、共通認識を持つ大切さは今後さまざまな場面で出てくるとみています。

「今年、鳴子川大吊橋ができませんが、これをきっかけに、素晴らしい景観の中に人間と自然の心の語り合いを味わっていただきたいと謙虚な気持ちでそこに住む人たちが共通認識として持つ姿勢は、訪れる人々に共感を呼ぶと思います。」

多くの観光地が一時的賑わいで維持運営に苦労しているのは違い、自然がある限り、そこに優しい素朴な人がいる限り絶えることのない人々の往来ができるのではないかと思います。確かに住民の間に共通認識を浸透させるのはかなりの難事業です。しかし、自律を目指すということは、生きることに対しての思想でもあると思います。

どんな生き方を選択するのか、もっと勉強していかねばなりません。そのためのカウンセラー的な役割を持つ機関の設置が必要ではないかと感じています」

町と住民の間でも「自律を目指す」という共通認識はまだたできていないとは言えません。

計画の内容にしても、「あなたにとって、この計画はどんなことをもたらすのか」と具体的な数字などで個人に訴えかけるのが不足していると武内さんは言います。一方で、計画の実行を急ぐあまり



## 「楽しみ」な気持ちを持ち続け

明倫中央長寿会の女性会員7人が自主的にストレッチ体操に取り組み、健康づくりをしています。

集まるのは毎週水曜日。まずは町がつくった「しあわせソング」を全員で合唱。その後1時間かけてストレッチ体操をします。体操指導は武内哲子さん。約3年前、ストレッチ体操の効果を聞いた人たちから「私も教えて」と言われたのがきっかけ。健康運動指導士の山本幸雄さんの健康教室で習ったことをもとにプログラムを組み立てています。メンバーに聞くと、健康への効果は、もちろん大。肩こりや腰痛、ひざ。便秘にもいいらしいです。

全員が寿大学の学生ということもあり、体操の後には全員で同大学の歌「寿よ」を合唱。最後は、「老人クラブの歌」にのっての踊りも飛び出します。

お楽しみがもう一つ。持ち寄った料理やお菓子を囲んでのお茶会でお開きが恒例になっています。参加者は健康などについて情報交換したり、持ち寄った料理の作り方を教えあったり。メンバーは町が行う健康教室などへ積極的に参加しようと申し合わせており、そこで学んだことを教えあう場にもなっています。

始まりから終わりまで約2時間。決してお金や手間がかかっているわけではありません。しかし、実に中身の濃い集まりに、みなさんは「この日が来るのがとても楽しみ」。

毎週楽しみなことがある——健康な毎日は、こういった気持ちを持ち続けることから生まれるのかもしれない。



に、組織の論理が優先するようになることがあってはならないと話します。

「自分（アイデンティティ）は絶対に尊重しなければならぬし、自分が大事だから人を守らなければならぬんです。価値観の多様性を認め合うようではいけないと思いますよ」

自助・共助があつての公助があ

るように、まずは個人あつての地域だし、町。

武内さん夫婦が所属する九重町老人クラブ連合会は、健康づくりにも力を入れており老人医療費の減にも成功。厚生大臣表彰を受けたほか、全国紙の社説（朝日新聞2004年1月5日）にも取り上げられました。それぞれが健康づ

くりに取り組むことも「自助」とされていますが、その下地はできているようです。また、町の自主財源を確保するための取り組みについての提言もしていきたいと話し、先日も自然エネルギーによる発電について町に提言するため先進地で勉強してきたばかり。

そんな武内さんの年齢を聞いてびっくり。今年83歳。100歳ま

で生きるつもりだと笑います。まだまだ先は長い。

しかし、町の描く未来像への道のりは案外短いのもかもしれません。「自律推進計画に5年間、がむしやらに取り組み、がんばっていきけば町は大きく変わってくるはず」。武内さんはそう話しています。



## 家の神様に感謝

陣の内上地区の「山の神祭り」が2月12日に同地区公民館で行われました。

町内には毎月19日は「山の神様」が木を数えているので山に行くとかげをするという言い伝えがあり、この日は山での作業を休む習わしが今でも残っています。

陣の内上地区では、毎年この時期に山の神様に感謝する意味でのお祭りをしていますが、昨年からは「家の神様」にも感謝する祭りとなっています。というのも、この日のお祭りの料理は男性が手作りで準備し、女性を招待。接待することになっています。

今年も実行委員会を結成、担当料理を決める会議を経て、男性12人が午前9時ごろから準備。祭りが始まる12時ごろには見事に10品が完成しました。次々にテーブルに並べられる料理に、招待された女性19人は次々に歓声をあげていました。内容は、ぶりの煮つけやけんちん汁、酢の物など。かぼちゃスープの登場には「まあ、ハイカラ!」。材料はほぼ地元で採れたもので、82歳の足立幸男さんがその日の朝採ってきた山芋を使った吸い物が特に注目を集めていました。

実行委員長の高倉英俊さんは「町は自律を目指しているが、心豊かに過ごすことができるよう、こういった催しをしていきたい」とあいさつ。また区長の佐藤新八さんは「今日は何もせずに食べるだけでけっこうです。楽しんでください」。

ちょっと煮えたりないものもごく一部にあったようですが、女性たちは「味はすべてばっちり」。おまけに「愛が入っているからさらにおいしいです」。ごちそうさまでした。



男性に聞いてみると「家事はたまにやっています」。一方、女性に聞いてみると「全然やってくれませんか」。この差はどう解釈？

# よりしなやかに、変身

## 4月からグループ制を導入

九重町では、よりスピードを増す社会の流れ、より多様化していく住民のみなさんの要望にこたえていくため、新年度からグループ制を導入。しなやかに柔軟性のある、そして効率的な組織をめざします。

### ● グループ制って何？

課の中に従来のような係ではなく、ゆるやかなまとまりである「グループ」を作ることで、事務量や事務の優先順位などを考慮しながら、柔軟かつすばやく職員を割り当て

るものです。(町長が作る) 固定的な係制から、各課が主体となり課題にしっかりと向かい合わせるグループを課内に作っていくものです。

### ● なぜグループ制？

ゆるやかなつながりが生むチャンスと効率性 (係を廃止)

社会が多様化するにつれ、さらには地方分権が進むなどして、役場の業務は年々増加しています。それに伴い係も細分化。現在、九重町役場には12の課と50近くの係が存在し、それぞれで仕事を分担しています。しかし、係という固定化した枠のため、一時的に業務量が増えた係への他の係や課からの応援、新しいプロジェクトを立ち上げる際の係や課を超えた連携などはまだ十分とは言えません。

グループ制では係を廃止。これまでに比べ、よりゆるやかなまとまりを課の中につくります (下図参照)。

これから求められるのは「選択と集中」です。大きなことには集中的に人材とお金をかけることを言います。大きなことから小さなことまで日々役場の仕事には「選択と集中」があります。これをするには担当者一人だけでは足りない場面が多く出てくるのが予想されます。そんな時には、すぐにお互いが担当を超えて連携しあえる、しなやかな体制を作っていくことが求められます。

グループ制により、担当を超えた横のつながりが実現し課内職員全員の知恵が結集できることにより、「時には新たなチャンス」を、そして「いつも効率的な運営」を生むはずで

### ● グループ制がめざす将来像

職員一人ひとりがブランドとなり輝くように  
(役職を廃止)

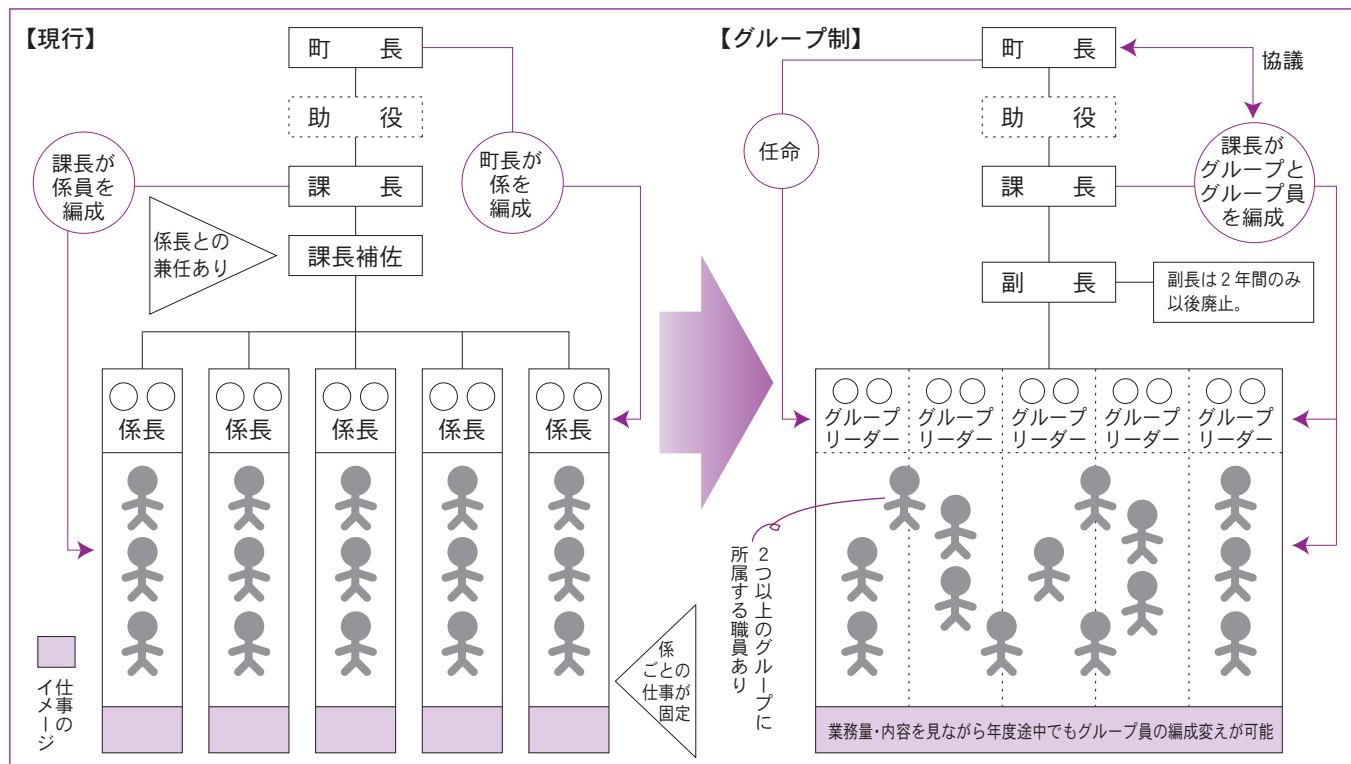
肩書きで仕事をする時代は終わり。これからは職員一人ひとりがブランドとなり輝き、仕事をする時代です。

近い将来、本格的なグループ制を導入することで課長以外の役職はなくなります。これにより、決定権者までの階層が少なくなってきました。職員一人ひとりの力量がこれまで以上に試されることにつながり、その責任はより重くなってきます。しかし、責任が重くなるということは、やりがいもてる、ということ。このことで職員の自己啓発意欲が向上し、より充実した仕事ができるようになります。

グループ制は各課にある程度の人事権や決定権を分散させる「役場内の地方分権」ともいえます。諸課題に対して機動力のあるグループを課内に作り、取りまとめていく課長の責任も非常に重くなってきます。

充実感を持ちながら仕事をしている人から生まれるものはいいものがある。

そんないいものをグループ制でたくさん生み出したいと思います。



## 無事故・無違反 40年以上



第46回交通安全国民運動中央大会が1月18日に日比谷公会堂（東京都）で行われ、交通安全に対する功労者などに贈られる交通安全賞章「緑十字銀章」を小幡勝彦さんが受章しました。同大会は安全で快適な交通社会の確立を目指し1961年から開催されているもので、今年度は、緑十字金・銀章合わせて747人が受章（大分県からは3人）。

小幡さんは昭和40年代前半から交通安全協会役員を、1970年から交通指導員を昨年4月まで務めたほか、自身も40年以上無事故・無違反を続けたことが今回の受章につながったようです。妻の満代さんも同日、「受章配偶者に対する感謝状」を受けました。

「常に違反をしてはならない、油断してはならない」と頭に置き運転しているという小幡さん。

「最後まで、安全運転を続けたいですね」

## 各地区公民館設置の「町民の声」(意見箱)の廃止および代替措置について

各地区公民館に設置してある「町民の声」(町政に対する要望、ご意見などを、お気軽にお寄せください。)については、2006年3月31日で廃止します。

### 【廃止理由】

町民の声(意見箱)については、現在、南山田公民館・東飯田公民館については設置されていますが野上公民館・飯田公民館については所在不明の状態であり、投函される意見もないため廃止します。

### 廃止後の意見・要望の募集方法

毎年4月号の「広報このえ」の綴じ込みで町政に対する意見・要望等を記入して投函できるような様式を入れ、郵送(料金受取人払い・有効期間1年間)で直接、企画調整課広報広聴係に届くようにします。

なお、本庁ロビー及び文化センターのロビーに設置してある「行政改革(町づくり)意見箱」については、引き続き設置します。ただし、意見については、提案者の氏名を記入の上、投函していただくようにします。

## もしもに備えて

くじゅう山系(硫黄山)火山防災協議会(会長は坂本町長)が2月17日に九重町役場で行われました。1995年10月、257年ぶりに噴火(水蒸気爆発)した硫黄山(星生山の左山腹)を中心とするくじゅう山系の噴火活動について、九重・竹田・由布の3市町をはじめ、警察・消防関係者などが情報交換や防災活動の協議を行うもので毎年開催。この日は25人が参加しました。

気象庁では、長期間火山活動のないレベル0からきわめて大規模な噴火活動のレベル5までを6段階に分けた「火山活動度レベル」を設定しています。硫黄山については「静穏な火山活動で噴火の兆候はない」レベル1。一部ルートを除いての噴気孔から半径500メートル以内の入山規制が続いています。

会議は「立入規制看板」の設置や防災道路などの整備をはじめとした対策活動を行っていくことや市町村合併に伴う規約変更が承認され終了しました。

また昨年3月、国の地震調査委員会は大分県東部の別府湾の海底から大分県西部にかけての分布する「別府一万年山活断層」(→NOTE)の調査結果を公表しました。同活断層には約百の短い活断層が密集。専門家は「常に地震が起きる可能性があることを認識しておかなければならない」と指摘しています。九重町は「野稲岳一万年山断層帯」に属し、「滝上南断層」「猪牟田断層」「崩平山断層群」「高柳断層」「川底断層」「菅原断層」などが確認されています。この断層帯の平均的活動周期は4000年とされ、その際にはマグニチュード7.3程度の地震が発生すると推定。今後、30年以内の地震発生率は「ほぼ0~3%」。その最大値をとると、国内の活断層の中ではやや高いグループに属するとされています。

### NOTE

活断層とはプレート内部の弱い部分で、過去・将来も含め繰り返し地震が発生しているもの。日本では、確認されているだけでも約2000か所の活断層がある。

110

交通安全

平成18年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計
	死者	負傷		
東飯田	0	0	5	5
野上	0	11	9	12
飯田	0	2	18	19
南山田	0	3	14	16
計	0	16	46	52

(平成18年2月末現在)

## 最高！幸せな気分になります

SCRAP

中学生と乳幼児のふれあい事業が2月11日に東飯田公民館で行われました。東飯田地区の青少年健全育成協議会と母子保健推進協議会が主催したもので、同地区中学生17人と、乳幼児17人・その親が交流をしました。

少子化、核家族化などの進行により、中学生が乳幼児と触れ合う機会は以前に比べ大幅に減少。中学生には命の尊さや愛おしさを感じるとともに、出産や育児の話を書くことで、自分がどのように育ってきたかに関心を持つこと。乳幼児の親には中学生との交流を通じ、今後の子育てを考える場にするのが今回のねらい。

参加者は4班に分かれ、まず自己紹介。最初は、中学生もおそろおそろ乳幼児に接していたようでしたが、それもほんの数分。見る見るうち解け、楽しそうな様子で、乳幼児とおもちゃで遊んだり、絵本と一緒に読んだりしました。赤ちゃんを抱っこした女子生徒は「最高！幸せな気分になります」。また、ぐずり始めた乳幼児に「家庭科であやし方を習ったのですが、忘れてしまつて…」とあわてた様子の男子生徒の姿も見られました。東飯田中学校では、家庭科の授業として、ことも園への実習も行っており、同校関係者は「昔の自分を思い出すのか、あたたかな気持ちになつていくようです」。



## 数十年後に期待

SCRAP

ジュニアデザイン会議「模擬町議会」が2月25日に行われました。

同会議は町内の小学校6年生で構成。今年度は、姉妹都市の佐世保市への研修などの学習活動を行ってきましたが、「少年の自由で夢のある発想と意見をまちづくりを生かそう」と行われる模擬町議会はその総仕上げ。議会の進行、質問スタイルなどは本物の議会と同じで、会場はもちろん町議会会議場。子どもたちは初めての議員の椅子に「座り心地がとても気持ちいい」とご満悦の様子でした。

11回目となる今年、質問に立ったのは23人で、質問内容は市町村合併や福祉、観光振興など多岐。特に学校をめぐる問題や通学路の安全対策についてのものが多く、身近な問題だけに関心の高さが伺えました。日頃接するニュースなどを参考に子どもたち自身で考えたという質問内容に傍聴者の一人は「良く考えている」と感心しながらも、「もっと子どもらしい質問も出ると思いますね」。答える側の執行部にも「行政用語などを使わず、なるべく優しい言葉で答えてほしい」と注文。最後に梅木征治町議会副議長が講評。

「まちづくりの中にみなさんの意見を参考にしていきたいと思えます。これからも勉強にがんばり、将来ぜひ町長や議員になってください」子どもたちの数十年後に期待。



共助

目標に向けて

## 受け継がれる、地域ぐるみの子育て

SCRAP

東飯田地区子ども祭りが2月26日に九重文化センターで行われました。同地区内の小学生が地区や学校単位で劇や歌などを発表するもので、24回目となる今年には11グループが参加。それぞれに割り当てられたボランティア・スタッフの指導を受けながら1月頃から練習を繰り返してきたという子どもたち。ステージをいっぱいに使った熱演に会場は大いに沸いていました。

このお祭りは、地元青年団が始めたもので、同団がなくなった後も、東飯田地区青少年健全育成協議会などがその精神を引き継ぎ開催。同地区の地域ぐるみの子育ての礎（いしずえ）のひとつとなっているようです。親子2代で参加というケースも年々増えていきます。

開会行事で主催者・東飯田地区青少年健全育成協議会会長の小幡憲一さんは「子どもと地域との交流の良い機会。お互いの顔を知ることによって犯罪防止につながることを期待しています」とあいさつしました。



住民のみなさんの取り組みで「自助」や「共助」にあたると思われるものにマークをつけました。



## SCRAP

# 地域づくりの里に一足早い春

南山田相狭間にある「うるがの里記念碑」の横に太宰府天満宮から梅の木が寄贈され、2月26日に植樹。記念式典が現地で行われました。

相狭間・口の園地区は、ジャンボ門松作りやひよつとこ踊りなど伝統行事の保存、食生活改善活動など地域づくりが盛んなところ。「うるがの里」は「さらに活動を充実させよう」と地区内の地域づくりグループや老人会などが2003年に結集したもので、同年には大分県農業賞「むらづくり部門」で優秀賞を受賞しています。今回梅の木が植えられた場所にある記念碑は同賞受賞などを記念して、昨年6月に相狭間地区住民が建設したものです。

同地区では住民の多くが菅原天満宮の氏子となる関係から太宰府天満宮との交流も進めており、今回の取り組みもそのひとつ。植えられたのは、紅い花を咲かせる桜梅（高さ4メートル）と白い花を咲かせる初雪（同2・5メートル）を一本ずつ。予想していたより立派な木に参加者は「周辺の見栄えが良くなり、趣が出てきた。大事にしていかなければ」と喜びの表情で話っていました。

今年梅の開花が遅れ気味。当日も町内の梅はまだ蕾でしたが、贈られたうちの一本には既に白い花が一足早い春を運んでいました。



## SCRAP

# 栗野路に春の訪れを告げる・・・

第18回栗おこし駅伝大会が2月26日に大字栗野地区内で行われました。地域の活性化のためにと栗野振興会（小野順三会長）が主催したもので、今年も、同地区内の行政区や南山田地区の少年野球チームなど9チームが参加。栗野中央公民館下をスタート・ゴールに、集落内の起伏の激しい8区間7.5キロの難コースを争いました。

大会には郡内のALT（外国語指導助手）3人（アダム・トーマス・ウィリアム）を中心にするインターナショナルチームも参加。地区内に縫製工場があった頃には、そこで働く中国の人たちもチームを組み参加していたそうで、名称も栗おこし「国際」駅伝と呼んで良いほど。この時期の開催について、事務局は「県内一周駅伝を発奮材料とするため」と説明。「二豊路に春の訪れを告げる」県内一周駅伝にあやかり、「栗野路に春の訪れを告げる」栗おこし駅伝。まだ花は咲いていませんでしたが、どこことなく梅の香りが漂ってきそうでした。

## News



## Scrap book

各分野から寄せられたニュースを集めました。



今年は先導役として高倉靖広さん（山梨学院大学4年生・陸上部所属）が参加。全コースを走りました。高倉さんは町内北区出身。陸上は長距離を専門とし、箱根駅伝の選手候補に選ばれるも故障のため、惜しくも参加できませんでした。この春からは福岡の民間会社の陸上部コーチとして就職。

「いずれは九重町に帰ってきて、県内一周駅伝で走ってみたいです」



参加賞は、だんご汁と栗おこし

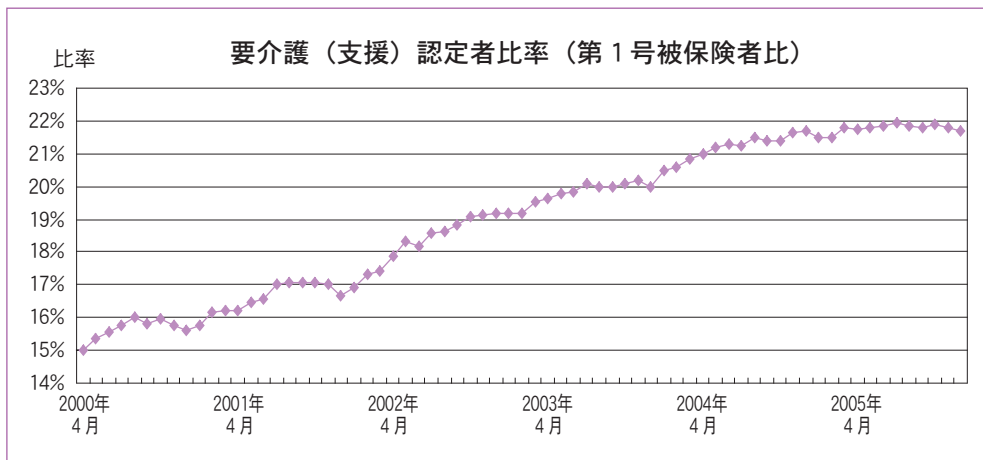
- 第1号保険者の月額保険料(基準額)が4,398円になります。
- 要介護・要支援認定が細くなり、予防給付が新たに始まります。
- 地域包括支援センターがスタートします。



**第1号保険者の月額保険料(基準額)が4,398円になります。**

介護保険は、国や町などの負担金や40歳から64歳までの人(第2号被保険者)が納める保険料、さらには65歳以上の人(第1号被保険者)の保険料や利用料などで運営されていますが、第1号被保険者の月額保険料(基準額)が3,285円から4,398円に引き上げられます。制度開始から5年間。高齢化率が進むに伴い、介護保険の認定を受ける人は年々増えています。

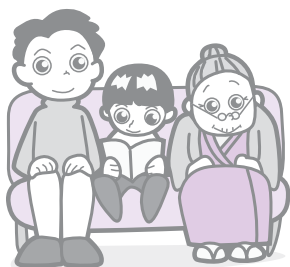
(注)月額保険料(基準額)は3月の定例議会で承認された上で正式のものとなります。



特に2004年10月には、より介護が必要になる確率の高い75歳以上の後期高齢者が前期高齢者(65歳~74歳)を上回り、その差が今後ますます開くことが見込まれています。それに伴い介護保険サービスの利用額も増えてきます。町では今後3年間の利用額などを予想。それを基に月額保険料(基準額)を4,398円にしました。ただし、利用者本人やその家族の所得状況によっては保険料が安くなったり高くなったりします。

**第1号被保険者の所得階層区分**

段階	対象者	保険料額
第1段階	●生活保護受給者 ●老齢福祉年金受給者で、本人及び世帯全員が住民税非課税の場合	基準額×0.50
第2段階	本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	基準額×0.50
第3段階	本人及び世帯全員が住民税非課税で、第2段階以外の人	基準額×0.75
第4段階	本人が住民税非課税(世帯内に住民税課税者がいる場合)	基準額
第5段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円未満の人	基準額×1.25
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が200万円以上の人	基準額×1.50



# 4月から 介護保険が変わります。

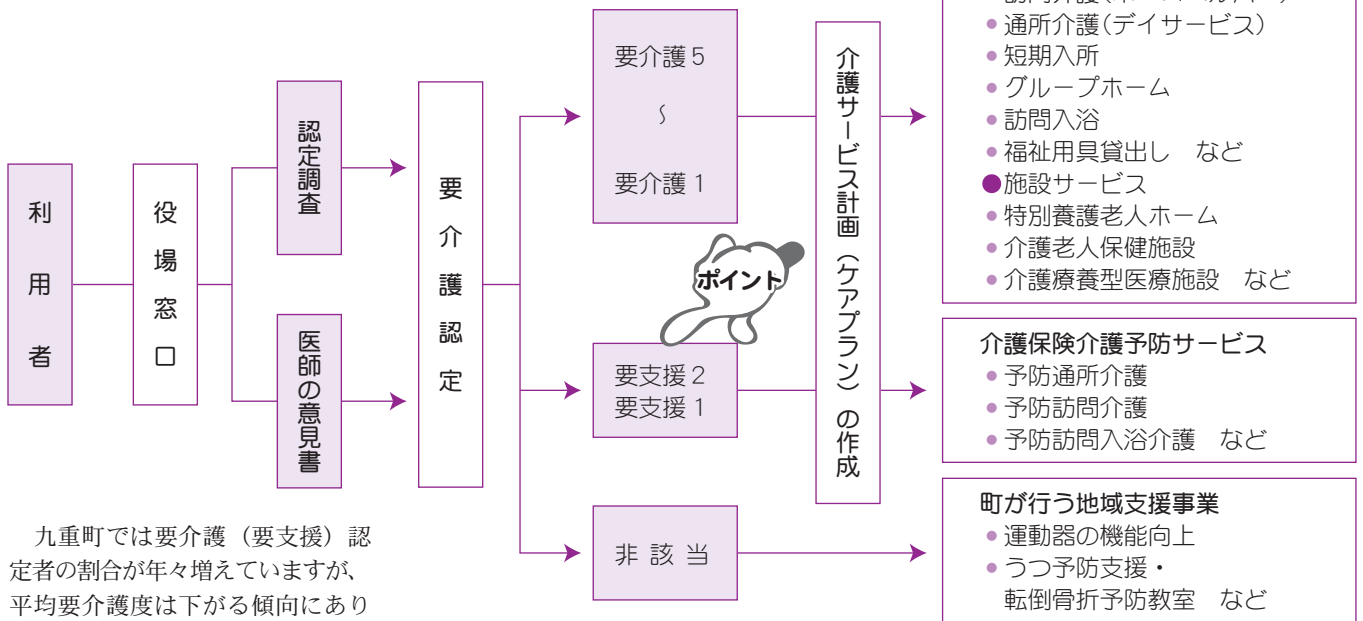
介護が必要になった高齢者が、訪問介護(ホームヘルプサービス)などの「在宅サービス」や施設に入所する「施設サービス」を1割負担で利用できる介護保険。4月からその内容の一部が変わります。



## 要介護・要支援認定が細くなり、予防給付が新たに始まります。

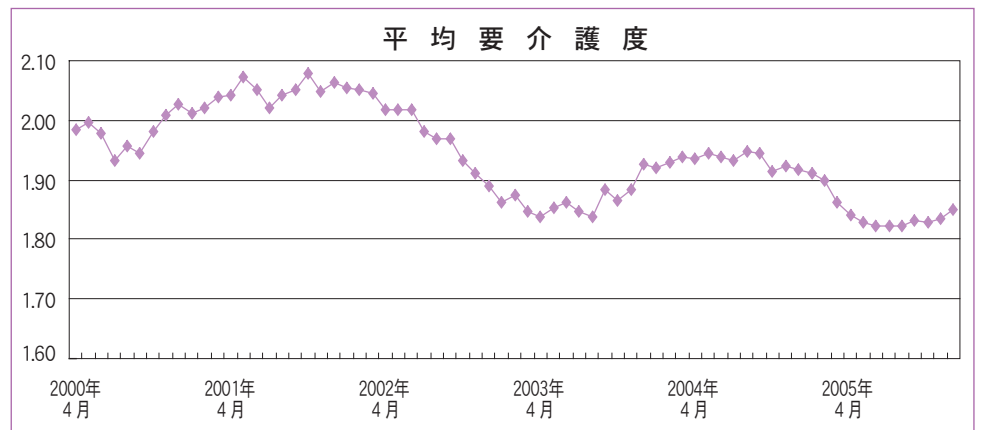
これまで介護保険は、要支援から要介護度5までの6段階の認定を受け、それに基づき受けられるサービスの内容や量が決められていましたが、4月からは7段階に変わります。特に比較的軽度とされる要支援認定がこれまでの1段階から2段階に細分化され、この階層への支援強化が行われます。

### ■介護保険サービスの利用手続き



九重町では要介護（要支援）認定者の割合が年々増えていますが、平均要介護度は下がる傾向にあります（右グラフ）。要介護度は介護が必要な度合いを表すもの。その数値が小さいほど介護の必要性が低くなります。年々、介護保険認定者が増える一方で、比較的介護度の低い高齢者も増えているといえます。「比較的介護の低い要支援」や「介護保険に非該当」の高齢者のサービスを充実させることで、介護が必要な状態になることを防止することが可能となります。

そのための役割を担うのが「地域包括支援センター」です。



▲地域包括支援センターのスタッフ



### 地域包括支援センターが設置されます。

高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として4月から役場内ふれあい生活課に地域包括支援センターが設置されます。地域にあるさまざまな社会的資源を使って、高齢者の心身の健康維持や生活の安定などをめざすもので、総合相談以外に高齢者の権利擁護や介護予防のためのケアプラン作りなどを行います。

なお、これまで町内2カ所に設置されていた在宅介護支援センターは3月31日で廃止されます。

お問い合わせ ふれあい生活課介護保険係  
(☎ 76-3802)



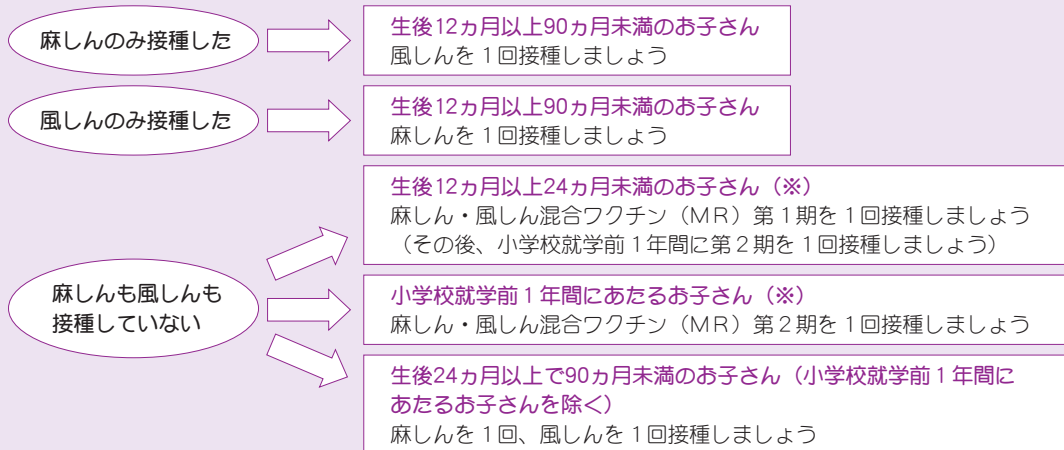
# 子どもの予防接種について



## 1. 麻しん・風しんの予防接種が変わります！

2006年4月1日から麻しん（はしか）と風しん対策をより一層強化するため、麻しん・風しん混合ワクチン（MR）の2回接種制度に変わります。（対象：図の中の※のお子さん）。そこで、麻しん・風しん混合ワクチン（MR）の対象者以外で未接種のお子さん（90カ月未満）については任意接種ですが、現行の麻しんと風しんを2007年3月31日まで無料で接種できます。

下の図でお子さんがどこにあてはまるか、接種状況から進んで年齢ごとの受け方にしたがって接種しましょう！



※予防接種については平成18年度人権・健康・環境カレンダーもご覧ください。  
※平成18年度人権・健康・環境カレンダーで「麻しん・風しんの予防接種ができるのは町内の医療機関のみ」となっていますが、県内の病院なら受けられます。訂正してお詫びします。



★風しんは妊娠初期にかかると先天性風しん症候群といって、生まれたお子さんに難聴や先天性疾患、白内障、網膜症などを起こす病気です。こういった病気を社会全体で予防するために予防接種があります。お子さんの体を病気から守りましょう！

## 2. 生後3カ月を過ぎたらBCGと三種混合を早めに接種しましょう！

BCG予防接種を生後3～6カ月未満に接種するようになり、三種混合の接種時期が遅れるため、乳児期の百日咳が全国的に増えているようです。感染の危険度から考えて、ポリオよりなるべく先に、三種混合を接種しましょう！

予防接種に関することは下記までお問い合わせください。  
保健センター ☎ 76-3838

められています。

九重町では75歳以上の後期高齢者が、（65歳から74歳の）前期高齢者を上回っており、これに伴い一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加。住民が一体となった「福祉のまちづくり」がこれまで以上に求められています。

「第13回福祉と健康と社会教育を考える集い」が2月19日に九重文化センターで行われ、約400人が参加しました。

### 暮らしてよかったと思える町を目指して



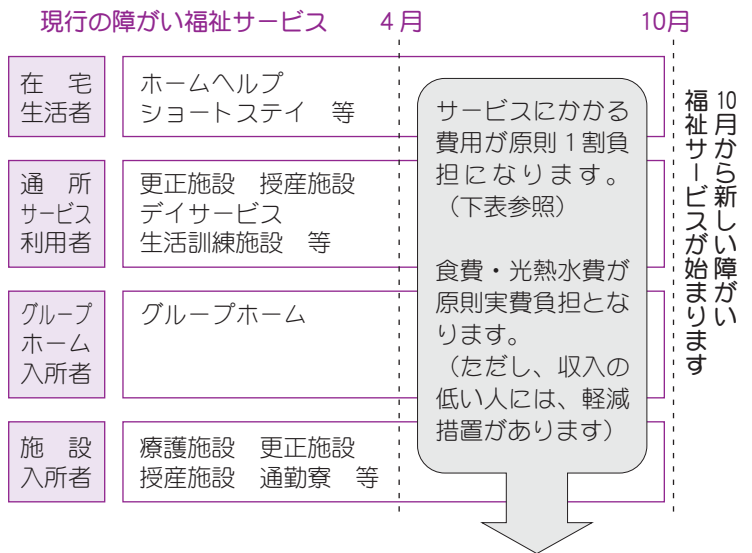
# 「障害者自立支援法」の成立により 2006年4月から障がい福祉サービスが変わります。

障がいの種類（身体障がい、知的障がい、精神障がい）に関わらず、障がいのある人の自立支援を目的とした福祉サービスを、共通の制度によって提供します。

## 障害者自立支援法のポイント

- ① 障がい者の福祉サービスを「一元化」  
サービス提供主体を市町村に一元化することで、障がいの種別（身体障がい、知的障がい、精神障がい）にかかわらず障がい者の自立支援を目的として、共通の福祉サービスを提供できるようになります。
- ② 就労支援の強化  
障がい者が一般就労できることを目的として新たな就労支援事業を創設します。
- ③ 地域の限られた社会資源を活用できるよう「規制緩和」  
市町村が地域の実情に応じて障がい者福祉に取り組み、障がい者が身近なところでサービスを利用できるよう規制を緩和します。
- ④ 公平な福祉サービス利用のための「手続きや基準の透明化、明確化」  
支援の必要度合いに応じてサービスが公平に利用できるよう、利用に関する手続きや基準を分かりやすく、明確にします。
- ⑤ 増大する福祉サービス等の費用を皆で負担し、支え合う仕組みの強化
  1. 利用したサービスの量や所得に応じた「公平な負担」  
障がい者が福祉サービスを利用した場合の食費などの実費負担や、利用したサービスの量や所得に応じた公平な利用者負担を実施します。
  2. 国の「財政責任の明確化」  
福祉サービスなどの費用について、これまで国が補助する仕組みであった在宅サービスについても、国が義務的に負担する仕組みに改めます。

## 障がい福祉サービスと利用者負担の仕組み



### ◎利用者負担の上限額

サービスにかかる費用は原則1割負担ですが、負担が増えすぎないように所得に応じて四つの区分の負担上限額が決められています。また、収入の低い人には軽減措置があります。

区分	対象となる人	上限額(月額)
生活保護	生活保護世帯の人	0円
低所得 <sup>1</sup>	市町村民税非課税世帯で障がい者または障がい児の保護者の年収が80万円以下の人	15,000円
低所得 <sup>2</sup>	市町村民税非課税世帯で低所得 <sup>1</sup> に該当しない人	24,600円
一般	市町村民税課税世帯の人	37,200円

お問い合わせ先 ふれあい生活課 ふれあい福祉係 ☎ 76-3802

## ■大分FCトリニータ・マルハンシートへ招待

募集条件 障がいのある人、高齢者1人につき、同伴者4人まで  
開催日 4月26日、5月6日、14日  
場所 大分スタジアム（ビックアイ）  
申し込み受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
申し込みは次のところへ連絡の上、人数、氏名、連絡先をお知らせください。  
大分中村病院・広報情報課・社会貢献室内  
NPO法人 IESPO International  
(担当：齋藤)  
☎ 097-537-5202 FAX 097-540-6806  
E-mail iespo@lespo.info

## ホームヘルパー2級養成研修

と き 4月22日(土)～7月9日(日)までの土・日曜  
と ころ ヘルパーステーション虹の家 講座会場  
募集人数 30人  
対象者 全日程を受講できる方  
受講料 73,500円(テキスト代・実習費含む。消費税含む)  
\* 教育訓練給付金制度(厚生労働省)あり  
申込期間 4月1日(土)～4月15日(土)  
申し込み・お問い合わせ先  
日田地域福祉事務所 ヘルパーステーション虹の家  
〒877-0071 日田市玉川3丁目1479-3  
☎ 0973-25-5011 FAX0973-25-5012

申し込み方法→所定の申込書に記入の上、郵送・FAX・持参のいずれかで提出してください。(申込書は、役場ふれあい生活課においてあります)

## 浄化槽設置の補助について

浄化槽は、家庭からのし尿と生活雑排水（台所・風呂・洗面所・洗濯の汚水）を衛生的に処理し、放流することにより、河川の汚濁防止など生活環境を保全します。

家庭用の浄化槽の設置に対して補助制度があります。

### ● 補助対象・金額

延床面積160kgまでの住宅・・・5人槽	354,000円
” 160kgを超える住宅・・・7人槽	411,000円
二世帯住宅で浴室、台所2箇所設置住宅 ・・・10人槽	519,000円

- 申請書提出前の工事着手は認めていません。
- 申請書受付 4月5日から行います。
- 申請先 役場 環境保全係 (kg 76-3801)

## 浄化槽の適切な維持管理について

浄化槽を設置したまま、適切な維持管理を行わないと機能に支障が生じ、汚水がそのまま放流されることになり、環境汚染につながります。

浄化槽の適切な維持管理は、①保守点検、②清掃、③法定検査の3つにより行われており、3つ全てが浄化槽設置者の義務となっています。浄化槽の保守点検及び清掃業者に管理を委託している人も、自身の浄化槽がどのように管理されているかしっかりと把握し、適切な維持管理が行われるよう心がけてください。

なお、不適正な浄化槽の設置者に対しては、行政指導や処分が行われる場合があります。

### ① 保守点検（大分県の登録業者）

保守点検とは、浄化槽機器の調整や消毒剤の補給等、浄化槽が適切な機能を保持できるように行われるものです。保守点検回数は浄化槽の人槽や処理方式により様々ですが、いずれも適切な機能を保持するために必要な回数行われることとなっています。

### ② 清掃（九重町の許可業者）

清掃とは、浄化槽内にたまった汚泥等を抜き出し、槽内の洗浄・清掃を行うものです。清掃回数は浄化槽の使用実

態で異なりますが、最低年1回（全ばっき方式の浄化槽については、おおむね6月ごとに1回以上）行う必要があります。

### ③ 法定検査

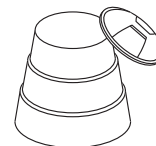
法定検査とは、浄化槽設置時の7条検査と年1回の11条検査があり、いずれも浄化槽が適切に機能していることを指定検査機関が確認するものです。なお、大分県では検査機関として「財団法人大分県環境管理協会」が指定を受けています。

## 生ごみ処理容器の購入補助について

家庭の生ごみを減らすため、生ごみ処理容器（コンポスト）を設置する家庭に補助金制度があります。補助金は購入金額（消費税含む）の2分の1で、最高限度額は1個につき3,000円です。1世帯に2個まで補助があります。補助金申請は、世帯主宛の購入領収書と印鑑持参、及び世帯主の振込み口座番号が分かるようにしておいでください。申込み締切は特にありません。

### 申込み先

役場 環境保全係 (kg 76-3801)



## 九重町地球温暖化対策実行計画について

九重町では、町の事務事業における温室効果ガス（CO<sup>2</sup>等）の排出抑制を目的に、平成13年度に「九重町地球温暖化対策実行計画（平成12年度を基準年に平成14年度から平成18年度の5年間）」を作成しています。平成16年度の数値が算出されましたので報告します。

### ● 平成16年度温室効果ガス（CO<sup>2</sup>等）排出量 1,444,428kg

平成12年度数値は1,226,501kgであり、5年間に6%の削減目標であります。平成16年度数値は平成12年度対比で17.8%の増となっています。これは、一人ひとり温室効果ガス排出抑制に取り組んでいるものの、住民サービスを図るうえでの事務事業量の増加、及び施設整備の充実等の要因により増加したことが考えられます。今後も地球温暖化対策に対する取組みと啓発、さらに意識の高揚を図ります。

## 3月のハート降る♡このえ

お兄ちゃんお姉ちゃん、遊んでくれて

ありがとう！ ♡♡♡一母親

先日、東飯田地区の中学生と乳幼児のふれあい集会が行われました。

この集会は、中学生が直接赤ちゃんの重みや肌の柔らかさなどに触れたり、幼児とふれあうことで、命の尊さや愛しさを感じたり、乳幼児を持つ母親から子育ての楽しさや大変さなどを聞いて、自分がどのように育ってきたのか少しでも関心を持ってもらい、改めて親の愛情を考えるきっかけになれば、という思いから開かれたものです。

初めての試みにも関わらず、予想以上の大勢の参加人数に驚きつつ、この会に対して多くの方々に関心を持って頂けたことをとても嬉しく思いました。

さて、交流会では、最初は大変緊張していた中学生も純真無垢な乳幼児を目の当たりにして、「お兄ちゃんお姉ちゃん、抱っこ！」と言ってきた幼児を抱き上げたり、じゃれ合ったりしている間に自然とうちとけて、とても温かい雰囲気になりました。そして、お母さんたちは、そんな姿を微笑ましそうに眺めていました。

けれども、会が終わる頃には、小さな子どもは眠くなったり飽きたりしてぐずり始め、それをなだめるお母さんの姿に、中学生は子育ての大変さを感じたのではないのでしょうか。今回参加してくれた中学生の皆さんは、それぞれに温かいハートを持った子たちで、私も出会えてとても楽しかったです。そんな彼らを、同じ地域の人間として、これからも見守っていきたく思いました。

伝えたい「ちょっといい話」「心あたたまる話」をぜひお寄せください。町内各所に投稿用のボックスを設置していますので、そこに投稿するか、「ハート降るこのえ」メンバーへご連絡ください。

連絡先 佐藤明郎 (kg 76-2526)

郵便の場合は次のとおり。

〒879-1489 九重町役場企画調整課広報係

# 新しい1ページ始まる



南山田小学校（藤野久光校長・全校児童85人）の大規模改造工事が終わり、2月24日に現地で落成式が行われました。

同校校舎は、明倫小学校と栗野小学校が統合し南山田小学校となった1974年に建設。30年以上が経過し老朽化が進んだほか、耐震性を強化させるため、昨年7月から改造工事を進めていたもので、総工費は約2億8000万円。

新しくなった校舎は、「環境とマッチ」、「木の香りとやわらかさ」、「バリアフリー」の3本を基本に設計。子どもたちにと

って落ち着いた雰囲気の中で学べるようにしました。また、児童用玄関横に事務室を配置。危機管理にも対応できるものとなっています。

落成式で坂本町長は「新しくなった校舎が児童にとって、より思い出深い、心のよりどころになるように願っています」とあいさつしました。

工事中の授業はプレハブの仮校舎で実施したものの、経費節減のため仮校舎の面積を当初計画から大幅に縮小。児童たちにとっては夏の暑さや運動場が狭くなったのがこたえたようです。しかし、「新校舎に入った瞬間、嫌だったことも忘れました。これからも南山田小学校を大切に使っていきます」と児童会会長の江藤遼君が落成式であいさつ（右写真）。児童にとって新しい校舎は「明るい」「優しい感じで、とても過ごしやすい」と大変好評の様子です。

新しい教科書のような良い匂いのする校舎の中で、南山田小学校の新しい1ページが始まりました。



「21世紀の郷土を担う産業後継者を励ます会」が2月1日に玖珠農業高等学校（佐々木寛二郎校長・全校生徒210人）でありました。卒業後に就農、または郡内の食品会社などの農業関連事業所に就職、農業関連の学校に進学する生徒を激励するもので、今年の対象は3年生75人のうち15人（うち九重町出身者は3人）。会場には全校生徒、教師のほか郡内の農業関係団体の代表者などが多数参加。社会への第一歩を祝いました。

会では佐々木校長が「学校で培った知識や技術だけでなく、やさしさや思いやりといった生きる力を発揮し、社会のために一生懸命働くことが自分の生きがいとなっていくようがん

## 一生懸命働くことが 生きがいとなるように

ばってください」と激励。また、自営者育成後援会会長の坂本町長は「21世紀は農業と環境の時代と言われるが、すでにその時代が来ています。農業は、昔のキツイ、キタナイ、キケンな3Kから今やカイトキ、コウリツ、ケンコウの3Kの仕事になりました。自信を持って農業を」と声援を送りました。

来賓のあいさつがあった後、後継者を代表して小野智史さんが「農業実習などを通じて、農産物を作る苦労や収穫の喜びを、家畜を飼うことで命の大切さを学びました。安全・安心の農作物やグリーンツーリズムなどを通じた憩いの場として農業・農村への人々の関心は強いものがあります。農業に情熱と誇りを持って一步一步進んでいきたい」と決意を述べました。これに対し在校生を代表して平山貴弘さんが「農業を取り巻く情勢は厳しいが、皆さんの努力や活躍が私たちの心の支え。よき先導者、地域のリーダーとしての活躍を期待します」と激励の言葉を送りました。

景気の上向きを反映し、今年度の同校の就職状況は好調のようです。卒業生のうち9割が就職。ほとんどが県内企業で、その約半数が郡内。進路担当者によると「求人も例年以上。卒業までにはほぼ100%就職が決まりそうです」。

# 県の地方振興局再編 九重町は西部振興局（日田市）が管轄

## 組織が変わります。

2006年4月1日より、現在12ある県地方振興局は6カ所に再編されます。

これにより玖珠九重地方振興局は日田地方振興局と一本化し西部振興局へ。事務所は日田市となります。

ただし、玖珠郡については「玖珠事務所」が4年間に限り設置され、パスポート発給などの窓口業務が行われます。また、現在の農業振興普及センターは振興局に統合・一本化されます(下図)。

### (西部振興局の組織図)

局長	総務部	・パスポート発給、県政相談、情報公開、災害本部対応、選挙、政治資金報告受付、振興局の総合窓口など
	地域振興部	・地域振興の企画立案推進、新市の行財政支援、商工振興、労働相談など
	農山村振興部	・農林水産業関係各種補助金・融資事務、集落営農、水田対策(米麦大豆技術指導)、林業技術指導、森林整備、木材生産など
	生産流通部	・ブランド産地化に向けた流通対策・農業技術指導(野菜、果樹、花き、畜産、椎茸、経営)など
	農林基盤部	・ほ場・農道整備、ため池・水環境整備、農村環境整備、農業防災、治山、林道整備業務など
	出納室	・振興局等の財務に関する審査事務、収入・支出事務、大分県収入証紙販売事務など
	玖珠事務所	・パスポート発給、県政相談、情報公開、 ※簡易な窓口サービスなど

## 仕事のしかたが変わります。

県振興局はより高度・専門的、広域的な体制に脱皮。次のように変わります。

- (1) 地域振興の担当者がより専門的になり、地域に出かけ一緒に知恵を絞ります。
- (2) 農産物の流通担当普及指導員が配置され、消費者と生産者をつなぎます。
- (3) 農業普及指導員を増員・集約してより専門化し、これまで以上に現場に密着した技術指導を行います。
- (4) これまで以上に地域の立場で県庁と議論し、現場が求める事業を政策に反映させます。
- (5) 地域の農業後継者や女性団体の研修や講習会、会議を行なえるスペース「担い手プラザ」を確保します。

地域福祉室は現在の日田総合庁舎内(日田市城町)から日田玖珠県民保健福祉センター庁舎内(日田市田島2-2-5 ☎ 0973-23-2215)に移転します。

西部振興局 ☎ 0973-23-2200

〒877-0004 日田市城町1-1-10

西部振興局玖珠事務所 ☎ 72-0260

〒879-4413 玖珠町塚脇137-1

※簡易な窓口サービス ~ 火薬類(譲渡、譲受、消費、廃棄)許可申請受付・交付、電気工事士免状申請受付・交付、技能検定合格証書交付、狩猟免許申請受付・交付、家畜商免許申請受付・交付、林業種苗生産事業者登録申請受付・交付、大分県収入証紙販売等

## 「切株山(西玖珠中継放送局)」から放送しているOBS大分放送のテレビチャンネルが変わります。

現在のチャンネル42 → 新しいチャンネル47

42チャンネルでの放送は、2006年5月20日(土)で終了します。

西玖珠中継局を受信しているお宅へは、国の指定を受けて対策工事を行う指定周波数変更対策機関(社団法人 電波産業会)から工事担当者がお伺いしてご家庭のチャンネル再設定を行います。このチャンネル再設定はご自分でもできます。ご自分でなさらない方は次の受信対策センターのフリーダイヤルへ連絡してください。

なお、このチャンネル変更に伴う対策工事については個人の費用負担はありません(所定の書類への署名と押印が必要ですが、経費を請求することも後日請求書をお送りすることはありません)。

\*事務所やホテルなど一般家庭以外での施設は所有者自身による対策をお願いします。

### 大分地域受信対策センター

フリーダイヤル 0120-660-934

携帯/PHS/公衆電話 097-532-2244

受付 平日8:00~21:00、土・日・祝9:00~18:00

山火事は、例年春先の土・日や休日に多く発生しています。このことは、降水量が少なく空気が乾燥している上に、風が強くなるこの季節に屋外での活動が多くなることと、火入れの時期と重なることが大きな要因です。

山火事は住宅火災とは異なり、いったん発生すると水不足や道路状況などの地理的・地形的な条件から消防活動が難航し、焼損面積が広範囲に及ぶ危険性が高くなります。

- 山火事の原因は火気の取り扱いは不注意や不始末によるものが多い、大部分はみなさん一人ひとりの注意で防ぐことができます。
- 山火事を防止するために・・・**
- 1、風の強い日には焚き火・火入れをしない。
  - 2、焚き火・火入れの場所を離れるときは完全に消火する。
  - 3、火入れや寄せ焼きをする場合は必ず最寄の消防署に届ける。
  - 4、たばこの吸殻は必ず消し、絶対投げ捨てはしない。

119番

## 春の行楽期・野焼きシーズンにおける山火事防止!



# 図書館だより

ほんの森  
3月号

図書館開館時間  
平日 10:00~18:00  
土・日 9:00~17:00  
月・祝 休み

## ★「哲学」も楽しい!★

九重町図書館でも人気の本「さおだけ屋はなぜ潰れないか?」が、2005年度の本のベストセラー堂々3位に入っています。発行部数からみても、全国でおよそ130万人以上の方が「会計学」の本を読んだこととなります。本のタイトルのつけ方にうまさは感じますが、それにしても、会計学!?? この本がきっかけになったのかどうかは知りませんが、最近、経済学、哲学、数学などといった、〇〇学と名のつく専門分野の本が一般人向けに多く出版されているように感じます。専門家ではなく、その分野のことをほとんど何も知らない人への入門書に向けた「入門書」です。

イラストを多く取り入れ、中学生にもわかりやすい「プチ哲学」「四国はどこまで入れ換え可能か」(佐藤雅彦著)、「はじめて考えるときのよう」(野矢茂樹著)は哲学の入門書。

数学苦手の私に、「数学ってこんなに面白かったの?」と思わせてくれた「世にも美しい数学入門」(藤原正彦、小川洋子著)。有名な架空生物の謎解きが楽しい生物学入門書は、「らくろ首の首はなぜ伸びるのか」(武村政春著)。おばあちゃんの原宿、とげめき地蔵商店街の経済を面白く解説した「とげめき地蔵商店街の経済学」(竹内宏著)。

これまでなら自分から扉をたたくことさえしなかったであろう専門分野の本。でも、「気楽に読んで、この世界も知って下さい」というように、本のほうから扉を開いてくれるようなこの状況はやはり嬉しく思います。

上述の本はすべて図書館にそろっています。一度手にとってみて下さい。

## 新刊・新着図書

### 《一般書》

春秋名臣列伝  
戦国名臣列伝  
読書歯車のねじまき仕事  
悪魔の種子  
もったいない  
自分の謎  
私は神!  
ほんじよの眼鏡日和。  
優しい音楽  
彰義隊  
きみの友だち  
ゼロの蜜月  
天皇家の生活99の謎  
ドイツ流掃除の賢人  
日本怪奇小説傑作集1~3  
エデンの命題  
美しいお経  
夜市  
死の雑学  
意味がなければスイングはない  
中村屋のポーズ  
女教皇ヨハンナ 上・下  
しずくちゃん1~5  
肝、焼ける  
全国温泉大事典  
容疑者Xの献身

宮城谷昌光  
宮城谷昌光  
椎名誠  
内田康夫  
プラネット・リンク編  
赤瀬川原平  
リス・ブルボー  
本上まなみ  
瀬尾まいこ  
吉村昭  
重松清  
高木彬光  
福知怜  
沖幸子  
紀田順一郎編  
島田荘司  
瀬戸内寂聴  
恒川光太郎  
上野正彦  
村上春樹  
中島岳志  
ドナ W. クロス  
ぎぼりつこ  
朝倉かすみ  
野口冬人  
東野圭吾

となり町戦争  
生命をみとる看護  
ぼくとひかりと園庭で  
大仏破壊  
さようなら、私の本よ!  
雪の夜話  
死神の精度  
ディーブ・スロート  
夕凧の街桜の国  
国家と外交  
HOKKAI

### 《児童書》

止まったままの時計  
丑三時レストラン  
いのちの食べかた  
世にも不幸なできごと 4~9  
NHK探検ロマン世界遺産1  
耳かきのすきな王さま  
かいけつゾロリのなぞのおたから大きくせん  
ココ、きみのせいじゃない  
ついていかないよ! (ぼうはんしかけえほん)  
土をつくる生きものたち  
サルビルサ  
計算のみみつ  
あみものやさんピーヨのプレゼント

三崎亜記  
大坪洋子  
石田衣良  
高木徹  
大江健三郎  
浅倉卓弥  
井坂幸太郎  
ボブ・ウッドワード  
こうの史代  
田中均  
高樹のぶ子  
他  
今井福子  
松谷みよ子編  
森達也  
レモニー・スニケット  
小藺江圭子  
原ゆたか  
ウィッキー・ランスキー  
谷本雄治  
スズキコージ  
瀬山士郎  
おおしまりえ  
他

## 声優に挑戦



声優体験ワークショップ「こどもたちによるアニメ上映会」が2月4日に九重文化センターで行われました。子どもたちに芸術の楽しさを体験してもらおうと i i c h i k o 総合文化センターと九重文化センターが共催。県内から小学校3年生から6年生の14人が参加(町内から8人参加)しました。

題材はヨーロッパの短編アニメーション3本。まず子ども達は3班に分けられ、班毎に作品を割り当て。県内の劇団員の指導を受けながら2時間かけてセリフを画面に合わせる練習や腹式呼吸などの基礎訓練をしました。特に掛け合いのシーンのタイミングのとり方や日本のアニメとは違う独特の間に苦労しているようでしたが、「すごくうまくなった」と指導者。

最後は、アニメ上映会に臨み練習の成果を一般に発表。参加者の一人は「こうすればよく声が出るのが、と勉強になった。将来は声を使う仕事が見てみたい」と手ごたえを感じているようでした。

## 平成18年度国家公務員採用試験の概要

カッコ内は試験申し込みの受付期間

### ①大学卒業程度

国家公務員Ⅰ種(4/3~4/10)・Ⅱ種(4/14~4/25)、国税専門官(4/3~4/14)、法務教官(4/3~4/14)、労働基準監督官(4/3~4/14)、航空管制官(7/18~8/1)、外務省専門職員(4/13~4/28)

### ②高等学校卒業程度

国家公務員Ⅲ種(6/20~6/27)、刑務官(7/18~8/1)、入国警備官(7/18~8/1)、皇宮護衛官(7/18~8/1)、航空保安大学校学生(7/18~8/1)、海上保安学校学生=特別(4/3~4/10)、海上保安学校学生(7/18~8/1)、海上保安大学校学生(8/24~9/5)、気象大学校学生(8/24~9/5)

詳しいお問い合わせは次のところまで

人事院九州事務局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1  
092-431-7733

ホームページ <http://www31.ocn.ne.jp/~npaq/>

郵政総合職(大卒程度)、郵政一般職(高卒程度)は、郵政公社のホームページ(<http://www.japanpost.jp/>)等でお知らせします。問い合わせは日本郵政公社人事部採用グループ(03-3504-4411)まで。

## 市民公開講座 「骨と歯と顔の健康について考える」

平成18年4月23日(日)

午後1時~午後4時(開場は正午)

場所 オアシス広場内chiko音の泉ホール(大分市)  
入場無料、定員700人(定員になり次第、事前申し込みのある人を優先)

内容は歯や噛み合わせなどに関する講演(4本)

申し込みは電話、FAX、Emailで。

大分岡病院コールセンター

097-503-5033 FAX 097-503-6606

E-mail call@oka-hp.com

## 「貸します詐欺」にご注意ください

最近、大手金融機関などを装って、「お金を貸します」といった内容のニセモノDM(ダイレクトメール)や携帯メール等を送りつけて、保証金や保険金名目でお金を騙し取る新手の手口が増加しています。

このような詐欺行為を「貸します詐欺」といいます。被害にあわないよう十分ご注意ください。

問い合わせ 大分県消費生活・男女共同参画プラザ・アイネス 097-534-0999

## 知ってください！！ 建設リサイクル法のこと

1. 工事の発注者及び施工者は「分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等」の促進に努めなければなりません。一定規模以上の工事については、受注者(各下請負人を含む)又は自ら施工する人は「分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等」の実施義務があります。(分別解体と再資源化の義務)

〔対象建設工事〕

工事の種類	規模の基準
建築物の解体	80
建築物の新築・増築	500
建築物の修繕・模様替(リフォーム等)	1億円
その他の工作物に関する工事(土木工事等)	500万円

※特定建設資材(コンクリート・コンクリート及び鉄・アスファルト・木材)を用いたもの

※建築物の解体、新築等については延べ床面積、その他は請負金額

2. 発注者又は自ら施工する人は、対象建設工事の事前届出が必要です。

対象建設工事の発注者は、工事着手の7日前までに分別解体等の計画について、都道府県知事に届け出ることが必要です。(窓口：玖珠土木事務所 建築担当)

3. 発注者・受注者間での契約手続き等の整備が義務づけられています。

※詳細はお問い合わせください。

4. 解体工事業者の登録制度

建築物等の解体工事の実施には、建設業許可※又は解体工事業者登録が必要です。

※建設業許可区分のうち、土木工事業、建築工事業、とび・土木工事業

問い合わせ先 玖珠土木事務所 建築担当 72-1152

## 汚泥発酵肥料を配布しています

汚泥発酵肥料とは

玖珠町と九重町から収集された、し尿・浄化槽汚泥を処理していく工程で発生する汚泥を発酵させて造粒したものです。肥料取締法に基づき登録されている肥料です。

肥料は15キロ/袋

肥料の主な成分(平均値)

窒素3.56%、リン酸3.37%、カリ0.5%未満、炭素窒素比5

問い合わせ 日田玖珠広域行政事務組合・

玖珠環境衛生センター(73-7020)

## 就職をしたい女性の方へ

無料パソコン技術講習 機能パソコン3級

講習期間 平成18年5月17日(水)~6月20日(火)  
(土・日・祝日を除く) 10時~16時

場所 大分県日田総合庁舎(日田市城町1丁目)

受講対象 就職を希望する女性で原則として全日程出席できる方

講習内容はパソコン表計算(エクセル)。受講料は無料。ただしテキスト代等の6,500円(予備)は自己負担。

申込方法 4月19日(水)・20日(木)10:30~12:00に日田総合庁舎にて受講者選定のための面接と簡単な筆記試験を実施します。

問合せ先 大分県日田地方振興局労政係  
(0973-23-2673)



## 大分県奨学会奨学生の募集について

### 1. 高等学校等緊急支援奨学金

**対象** 大分県内に住所を有する人の子弟で、県内の高等学校・高等専門学校に在学している人で、優秀な資質を有し、経済的理由により修学が困難な人

**募集期間** 2006年4月上旬～5月中旬

**貸与期間** 2006年4月から在学する学校の標準修業期間の終わる月まで。

**貸与月額** (高等学校・高等専門学校同額)

国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外
18,000円	23,000円	30,000円	35,000円

### 2. 高等学校等育英奨学金

**対象** 大分県内に住所を有する人の子弟で、高等学校(盲・ろう・養護学校の高等部を含む)又は専修学校高等課程に在学している人(2005年4月以降入学者に限る)で、優秀な資質を有し、経済的理由により修学が困難な人

**募集期間・貸与期間・貸与月額**は、上記の高等学校等緊急支援奨学金と同じ。

**問い合わせ先**(財)大分県奨学会

☎ 097-536-1111 内線5614・5620

または各学校の奨学金担当の先生へ

## 水質検査計画について

建設課水道係では、水道水の安全確認のため、水道法に基づき毎月定期的な水質検査を実施しています。

水道法の施行規則では、新年度に実施する水質検査の内容について「水質検査計画」を作成し、需要者へ公表することとされています。

これに伴い、建設課水道係では「平成18年度水質検査計画」を作成しました。閲覧期間は3月15日から3月31日です。

閲覧をご希望の方は建設課水道係(☎ 76-3811)までお越しください。

## 平成18年度第1回危険物取扱者試験

**試験種類** 甲種・乙種・丙種

**日時** 平成18年6月18日(日) 午前10時～

**試験会場** 県立日田林工高校(その他の会場あり)

**願書受付期間** 平成18年4月17日(月)～4月26日(水)

願書は、県内各消防署などで配布しています。

**問い合わせ**

(財)消防試験研究センター大分県支部

(☎ 097-537-0427)

## 平成18年度前期技能検定試験

**受付期間** 4月4日(火)～4月14日(金)

**実技試験問題公表** 6月5日(月)

実技および学科試験の実施日は受付後に指定されます。

**検定種目**(予定)

1・2級(36職種59作業)

造園・機械加工・鉄工・板金・とび・左官・サッシ  
施工・塗装・印刷など

他に、単一等級(2職種2作業)3級(9職種12作業)の試験があります。

試験種目等の詳細は、

大分県職業能力開発協会 ☎ 097-542-3651まで

## 平成18年度 固定資産税価格等 縦覧帳簿の縦覧について

平成15年度より、「固定資産課税台帳」による縦覧から、「土地価格等縦覧帳簿」及び「家屋価格等縦覧帳簿」による縦覧に変わりました。この帳簿は縦覧のために作成されたもので、所有者情報は記載されていないため、納税者が自己の土地・家屋の評価額と他の土地・家屋の評価額とを比較することができます。ただし、この目的(納税者が自己の土地・家屋の評価額と他の土地・家屋の評価額との比較により適正かどうかを判断すること)以外の縦覧はできません。また、償却資産はこの縦覧の対象外です。

**縦覧帳簿による縦覧を次のとおり実施します**

**縦覧期間** 4月1日から5月31日まで

(ただし、土・日曜日及び祝日の閉庁日を除く)

**縦覧時間** 午前8時30分から午後5時まで

**縦覧場所** 九重町役場 税務課

**縦覧できる者** 固定資産税(土地・家屋)の納税者

(納税者の同居親族で納税者から委任を受けた人及び納税者の代理人として委任状等を提示できる人等を含む)

※ 土地の納税者は土地の縦覧帳簿、家屋の納税者は家屋の縦覧帳簿、両資産の納税者は土地・家屋両方の縦覧帳簿の縦覧ができます。  
注意：資産の所有者であっても納税者でなければ縦覧できません。

※ 自己の固定資産課税台帳の内容等について知りたい方は「閲覧」で確認することができます。「縦覧制度」についての詳しい内容は、役場税務課資産税担当(☎ 76-3803)まで問い合わせください。

## 今月の 年金相談

**日時** 3月22日(水)10:00～15:00

**場所** 九重町役場1階・102会議室

## 今月の納税

【国民健康保険税】

納期限 3月31日

# 幸せになるうね



No.122

のメンバーです。

作品作りや人権学習等、いきいきと学んでいます。

2年間の学習を終え、3月に卒業をむかえます。生涯青春にふさわしく、何にでも興味を持ち、学ぶ姿勢から力強さを感じます。皆さんからたくさんのお話を教えていただき、又「励まし」をたくさんいただきました。「励まし」は、「万」の「力」と書きます。励ましには2つあります。心に届く励ましと、形だけの励ましと。心からの励ましを、送りつづけたいですね。

「生きる希望」「生き抜く力」を広げていくのは声の響きです。

## 生涯青春

元気に「おはようございます」と隣保館に集ってこられる笑顔の顔、顔、顔

「自身の思いを声にあらわす事ありされば意が声とあらわる」とあります。日常生活の中の「気づき」を大切に、さまざまな人権を通し、人権感覚を磨いて、そして、差別や偏見に対して声をあげていきましょう。

昨年11月、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援に関する法律」（高齢者虐待防止法）が成立し、今年4月1日より施行されます。

高齢者虐待とは、養護者及び養介護施設従事者等による高齢者虐待をいいます。

養護者による高齢者虐待の種類は、身体的・心理的・性的・経済的・各虐待及びネグレクト（介護放棄）の5種類です。

全国的に、子どもの虐待と同じく、年々増え続けている現状にあります。防止法では、早期発見、早期対処がとても重要です。地域で、高齢者の方々がいきいきと、暮らしていけるように、一人ひとりが、幸せに生きるために、みんなで考えていきたいと思えます。

隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美

### ＝2006年3月・4月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住所	電話
院	3月	21日	麻生消化器科内科医院	山田	72-7100
			友成(町田)医院	町田	78-8811
		26日	井上医院	恵良	76-2711
			三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101
	4月	2日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330
			飯田高原診療所	飯田	79-2138
		9日	小中病院	塚脇	72-2167
		16日	高田病院	春日町	72-2135
		23日	武田医院	森	72-0170
			矢原医院	野上	77-6121
29日		北山田クリニック	北山田	73-2030	
		長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143	

歯	月	日	医療機関名	住所	電話
科	3月	21日	森山歯科医院	日田市	0973-24-5809
		26日	長尾歯科	帆足	72-7122
	4月	2日	林田歯科医院	引治	78-8416
		9日	アベックス歯科医院	日田市	0973-22-0075
		16日	沢熊歯科医院	日田市	0973-22-2900
		23日	川津歯科医院	日田市	0973-24-6347
		29日	(玖珠)相良歯科医院	塚脇	72-0214

獣	月	日	獣医師名	電話
医	3月	25日	佐藤 獣医	77-6448
	4月	2日・15日・23日		
	3月	26日	山本 獣医	78-9101
	4月	1日・9日・22日・30日		
	3月	21日	甲斐 獣医	76-3324
	4月	8日・16日・29日		

★都合で変更する場合があります。

玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141  
● 火災の確認は ☎72-5100

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎72-3409  
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

# 歳時記

## 季題

4月号

「蝶」「霞(かすみ)」

「桜(花)」

(3月24日締切)

5月号

「母の日」「藤」

「薫風(風薫る)」

(4月25日締切)

### 今月の季題

「鶯(初音)」「芽」「青む」

退院の夫おとむかえし初音かな

草芽吹く笑って済ますもの忘れ

一筋の流れの渦に芹青む

鶯を背に初音うっとり野良仕事

鶯の影を残して飛び立てり

裏山の初音聞こえて目をさます

朝風呂の窓より届く初音かな

盆栽のまろくとなる公孫樹いちょうの芽

芽おこしの夕べの雨のまだ止まず

胸の中一句詠みたし木の芽時

朝の日に木の芽輝く雨上がり

田んぼ道芽ぶきし芹を夕の膳

牧草が休耕田に青みけり

頬に風やさしく撫でて青き踏む

校庭の百寿の木々の芽吹きかな

「退院の夫むかえし初音かな」退院と初音、心はればれ。

「草芽吹く笑って済ますもの忘れ」木の芽時の心身の変調をユーモアで。「一筋の流れの渦に芹青む」新鮮な芹の情感を表現。

三月を英語でマーチ、行進曲もマーチ、三月は解放、春眠、躍動、希望の月。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係までご応募を。なお、応募作品は返却しません。

藤澤 節子

原田 孟一

原田 勝子

湯浅加代子

甲斐 和子

穴井久美子

佐藤 修正

玉井多喜子

小野十三日

井上 マキ

武田マキエ

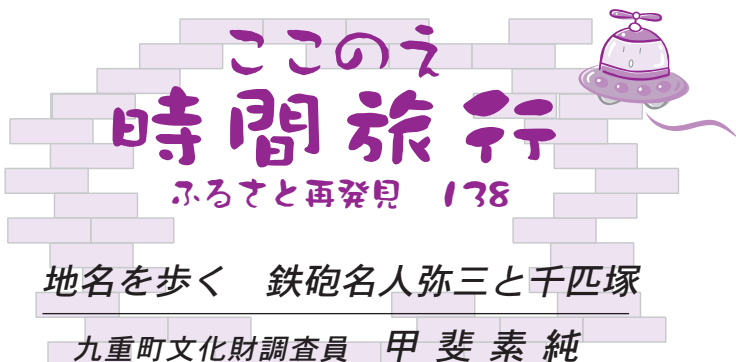
森高マサヨ

佐藤 元八

伊東 匡子

選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報



## このえ 時間旅行

ふるさと再発見 138

### 地名を歩く 鉄砲名人弥三と千匹塚

九重町文化財調査員 甲斐素純

栗原の弥三が鉄砲名人であったと前回記したが、山間部には多くの名人伝説がある。弥三の名人ぶりが、当時大分合同新聞の論説委員であった梅木秀徳氏(九重町出身)によって『大分の伝説』(下巻、昭和四十九年刊)の中に紹介されているので、以下これを記す。

あるとき、彼の射撃の腕前を疑う人がいて、この目で見せてくれと言った。彼はその人を連れて、町田にあるピラミッド型の小倉岳に登り、頂

上から樽を放った。草の急斜面に樽は転がり、時おり弾んではスピードを増して落ちていく。弥三はそれをめがけて次から次へと銃を撃った。麓に下りて調べたところ、弥三の弾は百発百中だった。

この話を聞いて、それでは腕比べをしようと申し込んできた獵師がいた。彼もその在所では名人と言われた男。二人は一つの谷を隔てて位置し、遠くはなれたところを次から次へ的にして競射した。二人ともさすがにうまく、互いに一発もはずすことはなかった。そのうち、競射を申し込んできた獵師の弾がなくなつた。彼が「おーい、弾を貸してくれ」と弥三に声をかけたところ、弥三は「銃口をこちらに向ける」と答える。どうするのかわかっていると、弥三はいきなり撃ってきた。びつくりする間もなく、弥三の撃った弾は彼の構えていた銃口に飛び込んだではないか。さすがの獵師もこれには驚き、ついに弥三の前に頭を下げたということだ。

ところで、栗原よりさらに山奥の湯坪には、「鳥獸供養塔」がある。俗に言う「千匹塚」である。玖珠には多くの動物が生息し、それらをつ

て生活の糧にしていた人々がいた。鳥獸供養塔は、一代で千匹以上の獲物をしとめたときに、その供養のために建立するものといわれ、狩人の誇りであった。

田野釜の口の小野喜美氏は、県内の同種の供養塔を調査されているが、県内所在の七基の供養塔の内、ただ一基この塔のみ「狼」の文字が入っている。つまり、自然石に刻まれた碑文には、「供養 鹿猪狼数千五百疋 寛政十二年申 湯坪村喜蔵」とある。かつて飯田高原で狼が生息していた証拠であり、田野蔵原にはこの狼の下顎骨で作られた、煙草入れの「根付け」を所蔵する旧家もある(日本では絶滅した貴重種)。また竹田市久住町大字久住には「猪鹿狼寺」という古寺もある。飯田高原周辺には、この狼のみならず「熊」や「イヌワシ」も生息していたことは、またの機会に記してみたい。



観音堂境内の弥三の墓

# 人の動き

お悔やみ申し上げます

おなまえ	年齢	行政区
小野 照海	85	田 中
梅木 子工	84	西 上
日隈 豊澄	53	岩 の 上
原田 トナ	96	前 二 湯
梅木 ツキヨ	86	筋 治
安部 盛孝	75	引 二 尻
小野 トメ子	89	田 中 一 旦
中村 精彦	79	中 村 中 一 旦
小幡 末工	90	上 北 一 旦
得丸 サトリ	92	北 下 一 旦
花田 トリ	96	下 中 一 旦
速水 保男	70	中 串 上
麻生 ユリ工	93	野 潜 上
河野 キ工	87	足 宝 泉 寺
立 信 介	79	下 宝 泉 寺
榎木 ミチ工	84	下 宝 泉 寺

2月1日～2月28日届出分 (敬称略)

## 人口と世帯

人口	11,551 人 (-31)
男	5,505 人 (-12)
女	6,046 人 (-19)
世帯	3,916 (-8)

( ) は前月との増減

おめでとうございます 出生

おなまえ	性別	保護者	行政区
後藤 <sup>ももか</sup> 百花	女	正徳	川下南
竹友 梨乃	女	直樹	中央一
後藤 <sup>こうき</sup> 晃希	男	和臣	粟野本村

## 妻がぼくを変えた日

～男女共同参画推進講演会

日時 3月24日(金) 午前10:00～  
場所 役場301会議室  
講師 中央大学法学部教授 広岡守穂さん

無料人権法律相談	4月12日(水)	午前10時～午後3時	役場301会議室
行政相談(心配ごと相談所と同時開催)	4月11日(火)	午前9時～12時	九重町隣保館

業式のテーマは「スタートライン」。卒業生のこれからの原動力となるように生徒が手作りのでつくりあげました。小河隆頼校長は一人ひとりに卒業証書を手渡した後、相田みつをの「そのときの出会いが今までの人生を根底から変えることがある、良き出会いを」という詩を紹介、「自分の道を歩む過程での、いろいろな出会いを大切にしておいてほしい」と激励。在校生全員からは卒業生との思い出を振り返り「飯田の伝統は確かに引き継ぎます」と送る言葉、保護者からは「贈る言葉」の合唱で、卒業生の「スタートライン」を祝いました。

最後の、卒業生が先生一人ひとりにお別れの言葉を述べる場面(写真)では感極まる生徒が続出。中学校生活の思い出が一気に押し寄せている様子でした。



町内の中学校の卒業式が3月3日、4校一斉に行われ、総勢112人が母校を後にしました。飯田中学校では24人が卒業。59回目となる今年の卒業式は、卒業生の代表として、相田みつをの「そのときの出会いが今までの人生を根底から変えることがある、良き出会いを」という詩を紹介、「自分の道を歩む過程での、いろいろな出会いを大切にしておいてほしい」と激励。在校生全員からは卒業生との思い出を振り返り「飯田の伝統は確かに引き継ぎます」と送る言葉、保護者からは「贈る言葉」の合唱で、卒業生の「スタートライン」を祝いました。



さようなら、  
大好きな先生たち

### 4月の お知らせ

#### 町長と語る ふれあいタイム

**4月8日(第2土曜日)**  
午前10時～午後4時(日中開催)

**4月22日(第4土曜日)**  
午前10時～午後4時(日中開催)

場所は町長室です。お気軽においでください。

## ももじ

■ 今でも歌えますか～特集:校歌	2
■ 町づくり懇談会ほか	9
■ 武内さん夫婦インタビュー	10
■ 4月からグループ制を導入	12
■ 小幡勝彦さん緑十字銀章	13
■ 意見箱廃止/火山防災協議会	13
■ ニュースクラップブック	14・15
■ 介護保険が変わります	16
■ 保健(子どもの予防接種)	18
■ 福祉(障がい福祉サービス変更)	19
■ 環境/ハート降るここのえ	20
■ 南山田小大改造/産後後継者を励ます会	21
■ 県地方振興局再編/119	22
■ 図書館だより/声優体験	23
■ 暮らしの情報	24・25
■ 人権/休日当番	26
■ 歳時記/時間旅行	27

黙ったままで良いかなあと思っただけで、県広報紙コンクールで特選をもらいました。対象は昨年7月号。県内で唯一自治体として高速インターネット(ロードバンド)がないことを特集した「この町だけじゃないもの」。「町のマイナスイメージをあらさすに重要な役割を立派に果たしている」「執念に拍手」といった審査員評。文章も読みやすく、レイアウトも素晴らしいの一方で、今年も文字の多さが指摘されました。おまけに「くどすぎるくらいがある」。10日で作った特集なので「勢いがある」と思っただけなのかもしれませんが、やっぱりそうでした。●21Pの南山田小新校舎落成式の取材中、上からの構図の写真を、と高い所に上がった瞬間、ガシャン!と激しい音と激痛が。天井からぶら下がっているテレビの角に頭をぶつけてしまいました。来賓あいさつ中、テレビは震度5くらいの地震のさなかのように揺れていました。自分の心でも激震でした。しかし会場にいた人からは頭の心配よりも「新校舎の落成式でモノを壊すなよ(笑)」。テレビは無事でしたが、頭は何日かヒリヒリ。●今月号は残った予算から計算すると28ページが限度。一部込み合った印象になりましたが、この時期、やりたかったのが校歌特集。このまえ読んだ本に出てきたのが「大人とは子どもの夕暮れではないのか」。解釈は二つできそうです。人間が輝くのは子ども時代から青春時代で、大人はくだらなく、たそがれたもの。一方で、夕暮れという豊かな時間(大人)を生み出すために子ども時代がある、とも。後者であってほしいと思います。以前この欄で紹介しましたが、よしもとななさん(作家)がこんなことを書いています。「夕方の力がとても強いところは、人々がちゃんと一日を終えることが出来る。そしてその出身の人たちに生涯消えない力を与える。そんな感じがする。生涯消えない力、を授けてくれた校歌を振り返ってみませんか。 Koichi-T

## 編集後記

黙ったままで良いかなあと思っただけで、県広報紙コンクールで特選をもらいました。対象は昨年7月号。県内で唯一自治体として高速インターネット(ロードバンド)がないことを特集した「この町だけじゃないもの」。「町のマイナスイメージをあらさすに重要な役割を立派に果たしている」「執念に拍手」といった審査員評。文章も読みやすく、レイアウトも素晴らしいの一方で、今年も文字の多さが指摘されました。おまけに「くどすぎるくらいがある」。10日で作った特集なので「勢いがある」と思っただけなのかもしれませんが、やっぱりそうでした。●21Pの南山田小新校舎落成式の取材中、上からの構図の写真を、と高い所に上がった瞬間、ガシャン!と激しい音と激痛が。天井からぶら下がっているテレビの角に頭をぶつけてしまいました。来賓あいさつ中、テレビは震度5くらいの地震のさなかのように揺れていました。自分の心でも激震でした。しかし会場にいた人からは頭の心配よりも「新校舎の落成式でモノを壊すなよ(笑)」。テレビは無事でしたが、頭は何日かヒリヒリ。●今月号は残った予算から計算すると28ページが限度。一部込み合った印象になりましたが、この時期、やりたかったのが校歌特集。このまえ読んだ本に出てきたのが「大人とは子どもの夕暮れではないのか」。解釈は二つできそうです。人間が輝くのは子ども時代から青春時代で、大人はくだらなく、たそがれたもの。一方で、夕暮れという豊かな時間(大人)を生み出すために子ども時代がある、とも。後者であってほしいと思います。以前この欄で紹介しましたが、よしもとななさん(作家)がこんなことを書いています。「夕方の力がとても強いところは、人々がちゃんと一日を終えることが出来る。そしてその出身の人たちに生涯消えない力を与える。そんな感じがする。生涯消えない力、を授けてくれた校歌を振り返ってみませんか。 Koichi-T